

福祉局

① 認知症神戸モデルについて

【質問】 植中雅子

認知症は、誰もがなり得る病気で、個人市民税均等割の超過課税として400円を市民にご負担いただき、全国に先駆けた神戸発の新たな取り組みとして、「認知症神戸モデル」を創設し、認知症の方やそのご家族が安心して暮らし続けていくことのできるような取り組みをしておられることに、まずは敬意を表したい。

制度開始から3年が経過し、開始当初、令和元年度には、75歳以上の約22万人全員に認知機能検診の案内を行っているが、受診者数は令和4年6月末までに約4.6万人である。この受診者数が、郵便費用等々も含めてその費用対効果があったのかどうか。早期の診断助成や、何かあったときの賠償責任保険など、トータルとして市民が安心を実感できる制度であるということの、市民全体へのさらなるPRや理解を得る取り組みが必要と考えるがどうか。

【答弁】 森下福祉局長

費用対効果については、同じようにこの診断助成制度を取り入れている他都市と比較すると、名古屋の受診率3.1%に対して、神戸市は10.2%と非常に高い受診率になっている。これは費用対効果があったと言い切っているのではないかと。

事故救済制度について「安心して外出ができるようになった」「何か起こったときでもこの制度でカバーしてもらえんだ」という声も聞いている。さらなるPR、理解を得る取り組みについては、様々な媒体を利用して、多くの人の目に触れるように積極的な周知をこれまで行ってきた。当然、超過課税のことについても掲載し、そのことも含めて認知症神戸モデルなんだということを市民全体にPRしていき、また、費用対効果に対する理解、そして安心・安全に対する理解も深めていきたい。

【再質問】 植中雅子

多くの方に診断を受けてもらうためには、市民が案内を受け取った際に、興味を持ってもらう仕掛けが重要ではないか。例えば、簡易なチェックリストを入れ、本人やご家族に自己診断をしてもらい、興味を示してもらうなどご家族がメリットを感じられるような仕掛けが必要と考えるがどうか。

【答弁】 吉村福祉局副局長

一斉送付での工夫については、神戸市から封書が届くということで、ご家族の方も受診がめめやすいという声も聞いている。神戸市独自というところでは、実施医療機関の一覧を一斉送付の中に入れていた。無料で第1段階、認知症かどうかの疑いを見ていただくというのを、神戸市としては医療機関でしっかりと診ていただくということが重要であろうと思っている。

【再質問】 植中雅子

地域が感じている認知症らしき高齢者をどのように見守って支援していくことができるのか大きな課題と思う。民生委員さん、自治会役員さんは、当該地域の高齢者の生活状況などある程度把握している。何かあったときの協力者として欠かすことができない存在である。認知症らしき方の情報をこれらの協力者が把握した場合でも、その協力者がどこに相談すればよいか分からなかったり、認知症の方への接し方についてもよく理解できていないというケースがある。相談先であるあんしんすこやかセンターの電話番号を記したポスターや、対応マニュアルを市民向けに作成し、自治会館等に掲示したり、配布することが有用と考える。地域で把握している認知症らしき高齢者へのアウトリーチについて、民生委員に交付している高齢者見守り台帳などを活用して、あんしんすこやかセンターと一緒にアプローチするなど、早期発見と支援につなげていってはどうか。

【答弁】 吉村福祉局副局長

地域の方々に認知症の方のご理解、接し方などを理解いただくということは、大変重要だと考えている。認知症の方を見守っていくという支援する体制づくりは本当に重要だと思っている。あんしんすこやかセンターが地域の中心になって、認知症高齢者等の声かけ訓練を行っている。地域の企業の方、例えば、銀行やコンビニの方も含めて地域での見守り体制、ネットワークをつくっていきたい。



② 高齢者の社会参加とKOBESINIA元気ポイントについて

【質問】 植中雅子

令和4年8月末時点での受入施設の登録数が153施設、活動登録者が970人と聞くと、令和2年12月の制度スタートから2年が経過しようとする中、どちらも低調と言わざるを得ない。予算9,226万円に対して、決算が7,861万円、そのうち登録者へのポイント還元はたったの46万円で、誠に残念としか言いようがない。コロナ禍での何かと制約があって厳しい船出ではあったが、2時間以上の活動で200ポイントの付与、200円相当というのは、ポイントの付与が低過ぎるのではないかと。高齢者の方の知識や経験を有効に発揮してもらい、生き生きと楽しく活躍できることが大事なことで、少し付与率を引き上げるとか、複数回の活動者に対して、感謝状やこの活動でしかもらえないような付加価値のある品物、例えば、神戸タータンのブックカバーや、ティーカップなどのご褒美のようなものがあればいいと思う。活動の場としても高齢者等の福祉施設から始めて、現在は保育園、子供関係施設へも広げていると聞くと、さらに、小・中学校や高校などで活動するなど、教員の多忙化の改善にもつながると考えるがどうか。

【答弁】 森下福祉局長

シニア元気ポイントの制度は、コロナ禍で流れに乗り切れていない状況である。ポイントの部分についても、1ポイント1円、1日当たり上限200ポイント。年間上限8,000ポイントという制度で、制度導入時に、先行している自治体の実態調査を基に決めたものなので、変えるべきは変えるべきと思っている。1つの試みとして、ハーバーランドセンタービルに開設した大規模ワクチン接種会場の場外で、道案内をしていただいた際に、長時間であること、施設外の活動であるということ、実験的に倍の400ポイントをつけさせていただいた。誰かの役に立てたという充実感、そして張り合いにつながったというお声も頂戴しているので、こんな試みも通じながら、いろんな工夫はしていきたいと思う。教育現場でも、教員の多忙化という問題を抱えている。教育委員会と情報交換し、また、検討につなげていきたいと思う。

【要望】 植中雅子

高齢者の方は、今まで敬老パスが安くて外出する機会が多かったが、料金が変わられてびっくりしている。生き生きと楽しく働いていただけるような、あるいは働く場だけではなく、イベントのようなものにも適用していただきたいと要望する。

③ 北区や西区での訪問介護や移動支援について

【質問】 植中雅子

駐車場費用が事業者やヘルパーの個人負担となっている。駐車許可証取得の手続きも手間と時間がかかる。公共交通機関を利用する場合も、北区、西区は交通費が高く負担が重い。移動支援では、支援後に事業所へ戻る交通費が報酬算定されない。結果として、事業者やヘルパー自身が利用者に負担を求めたり、利用者がサービス利用をためらったりしてはいけないと考える。移動時の支援について、車利用時に駐車場利用への補助を行うことができないか。車での訪問先が市営住宅や県営住宅、URなど、公共の住宅であれば、福祉局から空き駐車場を利用させてもらうための協力を要請することができないか。



【答弁】 吉村福祉局副局長

ヘルパーが訪問する交通費も勘案の上で報酬が決定されているため、さらに市が追加するというのは非常に難しい。市営住宅と公営住宅の駐車場について、ある程度スペースがあるような団地などでは、建築住宅局などに協力を願うなどの要請ができたと思う。

【要望】 植中雅子

北区の花山駅構内がバリアフリー化された。藍那駅でも階段の上がり降りが、高齢者にとっては大変だという声も聞いている。引き続きの推進をお願いしたい。



自由民主党神戸市会議員団と各種友好団体との意見交換会

令和4年10月6日と20日に、令和5年度予算要望への各種友好団体との意見交換会をさせていただきました。

10月6日は、兵庫県私立幼稚園協会、兵庫県トラック協会、神戸市民間病院協会を始めとする16団体、10月20日には、兵庫県警備業協会、兵庫県専修学校各種学校連合会、神戸旅客協会、兵庫県柔道整復師会等々、16団体のご代表の皆さんと出席議員が2部屋に分かれて意見交換をし、ご要望をお聞きいたしました。

私は副政調会長として、進行を担当いたしました。議員団一丸となってご要望の実現に努めて参ります。



建設局

1 北神地区の雨量規制の緩和について

【質問】 植中雅子

北区の北神地区において、平成30年度の豪雨や台風被害等により主要道路が雨量規制や土砂崩れのため通行止めとなった。令和3年8月にも大雨が続き、通行止めの基準雨量に達したため、表六甲ドライブウェイ(神戸六甲線)、そして裏六甲ドライブウェイ(有馬六甲線)、そして再度・奥再度ドライブウェイ(神戸箕谷線)の3路線で通行規制が実施された。北神地区の住民の安全・安心な暮らしを守るためには、さらなる道路防災対策を実施するとともに、迂回路の整備や雨量規制の緩和が必要と考えるが、いかがか。



【答弁】 林建設局長

表六甲ドライブウェイ及び裏六甲ドライブウェイについては、平成29年からの六甲山道路防災計画に基づき、5年間で重点的に対策工事を実施してきた。再度ドライブウェイ、奥再度ドライブウェイについては、令和5年から6年度にかけて対策工事を実施していく予定である。神戸三田線の迂回路ということで、雨量規制時には六甲北有料道路唐櫃インターチェンジから有野インターチェンジ間の無料開放の迂回路として既に定めている。また令和3年度にバイパス区間として有馬口トンネルの整備を終えている。もう1つの新たな迂回路ということで、国道428号の箕谷北工区の整備を現在進めている。

【要望】 植中雅子

市街地から北神区域へ結ぶ新たなトンネルを整備するぐらいのことをしないと抜本的な対策にはならない。難しい課題ではあるが、将来的にも検討課題として認識しておいてもらいたいと強く強く要望する。

【再質問1】 植中雅子

国道428号神戸北工区の整備の進捗状況はいかがか。

【答弁】 林建設局長

現在、原野地区については、工事着手に必要な面積の約50%が買収できている。令和4年度末には用地買収を完了させる予定である。今後はトンネル設備の設計等を進めながら、引き続き残りの用地交渉に鋭意取り組み、令和5年度にトンネル工事のためのヤード整備に着手していきたい。

【再質問2】 植中雅子

神戸三田線の渋滞対策の皆森から谷上間について、いまだに慢性的に渋滞が起きている。芝床一谷上駅間においての2車線化によって、やや緩和された兆しも見えている。谷上駅までは2車線で、駅を越えた途端に急に1車線に入ることが、非常に危険で心配されている。何か注意喚起のような方法は考えているか。

【答弁】 林建設局長

皆森から谷上間は、特に朝のピークの渋滞がひどく、東行きについては特に皆森交差点を先頭にする渋滞が大きい。2車線化の工事を進めており、1期工事が6月に完了した。谷上駅前の交差点以東で車線が1車線に絞られることから、第1車線に車列ができて、比較的空いている第2車線を走る車両のスピードが出やすいという状況になっている。現況の把握の上、啓発看板の設置、速度抑制を啓発する路面標示、あるいは警察による取り締まりの実施など、状況に応じた対策を取っていききたい。

【再質問3】 植中雅子

第2期工事の芝床一皆森間がある程度で上がった時の渋滞の緩和は、どのようになると見通しているか。

【答弁】 林建設局長

2期工事を完了すれば、恐らくこの皆森を先頭とする渋滞については解消できるのではないかと考えている。



2 災害時の緊急道路の整備について

【質問】 植中雅子

北区花山東町はUR都市機構が開発された団地で、その進入路はらせん型の立体道路のみとなっている。その道路が災害時等で通行できなくなる場合を考え、地域の方から不安に思っている相談があった。その隣にある幸陽町とは、人が通れる細い道があり、花山小学校の児童の通学路となっている。以前にも北建設事務所

に相談したが、災害や緊急時に救急車や消防車などが通行できる道路の拡幅整備を検討できないか。



【答弁】 小松建設局副局長

この道路を緊急時、災害時に使うという道路拡幅整備に当たっては、まず現況の側溝に蓋がけをするとともに、植樹帯や両側の紅葉の木を撤去する、それから未舗装部分を舗装する、これらのことについて花山東町と幸陽町の両地域の住民の皆さんに合意していただく必要がある。さらに、道路幅が約5メートルとなっており、曲線部などにおいて自動車の双方向の利用は不十分だと考えられ、部分的に待避所の設置が必要となってくる。車止めを着脱式に替えるようなことも必要だと考える。

【再質問】 植中雅子

介護を必要とする方がURにたくさんお住まいになっている。待避所が必要なら、URも交渉次第と思う。これから要ることがあるということ想定して、是非ともかかっていたきたい。

幸陽町の交差点に向けて下りてくる車が、道路形状も蛇行しているため、センターラインをはみ出して通行し、危険であるが対策はあるか。



【答弁】 小松建設局副局長

センターラインをはみ出して通行する車両の現状を確認した上で、センターライン上に光る反射材を埋設するか、減速を促す路面標示を大きくするか、増やす。カーブの前後に注意喚起看板を設置するなどの安全対策について検討していきたい。

3 公園トイレチェンジアクションについて

【質問】 植中雅子

公園内のトイレについては、「汚い」「臭い」「暗い」というイメージがどうしても付きます。建設局においては、誰もが使いやすい清潔で快適な明るく便利なトイレの整備を進めておられるが、現状の取り組みとその課題についてお聞きしたい。



【答弁】 広脇建設局担当局長

3Kと言われる「臭い」「汚い」「暗い」このマイナスのイメージから「クリーン清潔」「コンビニエント便利」「コンフォータブル快適」なトイレへチェンジの3Cを目指し、誰もが使いやすい快適なトイレの実現と神戸のイメージアップを目指す公園トイレチェンジアクションに現在取り組んでいる。令和3年度末時点において、市内トイレ273棟のうち14棟を建て替え、128棟で部分改修や洋式化を行った。令和3年度からはウィズコロナに対応した手洗いのタッチレス化にも取り組んでいる。当初35%だった洋式化率については、令和3年度末時点で72%となり、引き続き内装の美装化やバリアフリー化などに取り組んでいく必要がある。

【再質問】 植中雅子

子育て世代の方が子供たちを公園で遊ばせていることも多い。子供さんが1人でトイレに入って自分で用を足せるような子供用の便器は設置されているか。それから赤ちゃんのお世話をできる、休憩ができる、授乳ができるスペースはあるか。トイレの出入口に防犯カメラは設置されているか。

【答弁】 広脇建設局担当局長

最近の子供用のトイレは、保護者がそばにいて小さい子供が1人で利用する低い壁のトイレや、外から保護者が扉を開けることができるトイレなどもできていることは承知している。防犯上の配慮が必要だということで、慎重に検討していきたい。乳幼児への対応について、スペースの確保やコストの課題もあり、授乳や休憩までできるスペースというのはなかなか確保できていない。乳児のお世話するためのおむつの交換台、チャイルドシートの設置については、このチェンジアクションの中で順次整備を進めている。防犯カメラの設置に当たっては、まずは危機管理室や警察、地元なども協議をしながら、犯罪を予防する必要性が高い公園のトイレについては設置も検討していければと考える。

【要望】 植中雅子

① マムシ対策について

令和4年の夏は特にマムシが多く、地域の住民の方が何人も被害に遭い、救急車で運ばれて入院を余儀なくされた。建設局においては、その時期に草刈りを徹底して行っていただきたいとお願いする。

② 神出山田自転車道について

自転車道の延長にある、今まであった自然休養村(現在は解体済)にトイレを設置したり、地域の皆さんの活躍の場や、サイクリングに来られた方が交流できる場にしていきたい。是非、経済観光局とも連携していただき、地域の活性化のために努めていただきたい。

「農業女子」との意見交換会

令和4年8月20日、JA兵庫六甲本店ふれあい会館で開催され、肥料・飼料の高騰への農家支援、遊休農地、後継者問題、子ども達の農業体験の場づくり、鳥獣被害・電柵設置への補助、農地整備・圃場整備、農家女性の収入等々について、熱心な質疑応答・要望が続きました。宮崎雅夫参議院議員自身が私と同じ山田町の農家出身ということで、農家事情に精通されていることから、様々な課題に丁寧にお応えいただきました。

兵庫六甲農業協同組合の平尾組合長等5名の皆さん、椿野神戸市経済観光局副局長、坊垣兵庫県土地改良事業団体連合会副会長も出席され、「農業女子」の活躍へのさらなるご支援をお願いいたしました。



1 農福連携について

【質問】 植中雅子

農福連携事業の課題としては、就業環境が厳しいというイメージや、農業指導と障害者就労指導の両立が難しいことなど様々であるが、本市には多くの耕作放棄地があり、その有効活用という点から、高いポテンシャルを有している。今後事業を推進していくには、福祉局、経済観光局の連携が重要で、農福連携事業を積極的に広報し、農業従事者への理解を促すとともに、コーディネーターの配置などにより耕作放棄地の持ち主や、今後の農業継続が困難な農業従事者と障がい者施設のマッチングを行い、技術指導、販路確保など、積極的に支援していく必要があると考えるがどうか。



【答弁】 小原副市長

神戸市においては、耕作放棄地が存在する中、農福連携の取り組みは有益であると考えている。現在、10法人が神戸市の農業委員会が運営する農地バンクを活用している。今後、福祉事業所や農地保有者に対し、農福連携の成功事例の紹介を積極的に行うとともに、実施に意欲的な福祉事業所に対しては、農地バンク等の農業支援事業や支援機関の案内を充実させていきたい。農作物やその加工品に関する販路拡大の支援については、障がい者の就労支援機関である、しごとサポートに配置しているしごと開拓員により、引き続き取り組んでいきたい。

【再質問】 植中雅子

学校給食に使用している食材を農福連携事業で生産したものを活用すれば、給食における市内産の利用率が上がり、地産地消の推進につながると考える。またそれらの野菜を市が購入することを約束するなど、収益を確保できる仕組みを構築できれば、農福連携事業者にとって安定した運営が可能となると考えるがどうか。



【答弁】 長田教育長

今のところこうべ給食畑推進事業の一環として、北区の淡河町で障がい者支援施設を運営する社会福祉法人上野丘さつき会から出荷いただいたタマネギ約500キログラムを令和2年度から給食食材として使用している。農福連携の推進について、教育委員会としては、今後も引き続き関係団体と十分に連携を図っていきたい。

2 循環型農業の推進について

【質問】 植中雅子

本市では、下水から抽出されたリン化合物を配合した肥料である「こうべハーベスト」について、新規就農者を対象とする購入補助などを実施し、利用促進に努めてきた。昨今の国際情勢から、食糧安全保障の気運が高まるとともに、7月にはみどりの食料システム法が施行され、農林水産省における循環負荷低減事業活動が求められており、「こうべハーベスト」の活用は、循環型農業の推進において非常に有効であると考えている。そこで市外も視野に入れつつ、市内における利用促進を進め、「こうべハーベスト」を積極的に展開していくべきと考えるが。



【答弁】 久元市長

みどりの食料システム法が施行され、再生リンの需要が高まる中、本市の取り組みをモデルケースとして再生リンの活用を国家的プロジェクトとして推進していただくよう、兵庫県選出の国会議員各位に要望した。さらに施設増強についての支援や肥料の認証制度の創設などを国土交通省や農林水産省に要望し、さらに経済安全保障確保の観点からも、高市早苗担当大臣に要望もした。この9月には、岸田総理が下水汚泥堆肥などの未利用資源の利用拡大により、肥料の国産化、安定供給を図ることを農林水産省に指示をされたところである。今後、こうべ再生リンの利用拡大に向けては、まずリン回収施設を増設し、こうべ再生リンの生産拡大を図る。2つ目に、こうべ再生リンを活用した肥料開発を支援し、利用拡大を図る。さらに生産者に加え、一般のご家庭で園芸などに使っていただき、このSDGsの取り組みの意義を広く知っていただくため、12月中旬には、神戸SDGs肥料として販売を開始する。

【再質問】 植中雅子

神戸の里山の厄介者である竹を竹炭やパウダーにして、有機肥料と併せて農地へ還元することによって、土壌改良に活用してはどうか。竹害問題の解決に加えて地域資源循環型の神戸SDGs農業の推進など、多くの効果が期待できると考えている。「竹害から竹財へ!。」



【答弁】 今西副市長

竹の資源が活用できれば、地域資源の循環にも資するものだと考えている。竹パウダーを配合した堆肥を農地へ散布して、試験的に栽培する検討から今始めたいと考えている。

3 王子公園の再整備について

【質問】 植中雅子

王子公園の再整備に当たっては、質の高い大学を誘致することにより、王子公園エリアの新たな活用を創出することは、極めて有力な施策であると考えている。

一方で大学誘致の効果が十分市民に伝わっていないという懸念がある。

大学誘致の効果を分かりやすく市民に伝える方法の1つとして、経済波及効果を示すことは、意義が大きい。どの程度の効果が見込まれるのか。

【答弁】 久元市長

王子公園への大学誘致は、若年定住交流人口の増加、都市ブランドの向上、持続可能な神戸の発展に不可欠で、大きなメリットを有する。王子公園に3,500人規模の大学を誘致したと想定した経済波及効果を算出すると、直接効果として年間約65億円、総合効果として年間約102億円の経済波及効果がある。直接効果の主な内訳としては、大学の教育、研究などに伴う消費活動として約31億円、教職員や学生が市内で生活することに伴う消費活動として約30億円が見込まれている。

4 孤独・孤立問題への対応について

【質問】 植中雅子

本市では孤独・孤立問題に取り組む局として、新設された子ども未来担当局長を中心に、局横断的なプロジェクトチームを設置し、全庁一丸となって取り組んでいる。プロジェクトチームが設置されて1年が過ぎ、これまでの成果をどのように評価しているのか、今後の事業展開と併せて見解をお伺いしたい。



【答弁】 久元市長

令和3年4月、子ども未来担当局長を配置し、福祉局、健康局、子ども家庭局の3局で構成するプロジェクトチームを配置した。孤独・孤立の未然防止、予防、早期発見のための施策の充実、NPO法人などの民間団体が行う活動への支援、行政における相談窓口の充実の3点が重要であると位置づけられ、ひきこもり支援や子供・若者ケアラーへの相談支援、子供の居場所づくりなど、様々な孤独・孤立対策に資する事業を展開してきた。さらにコロナ禍において、子育て世帯への食を通じたつながり支援事業、困難を抱える女性に対する相談支援事業などにより、食品や生理用品の配布等を実施している。

【要望】 植中雅子

仮称ではあるが、「若者民生委員」というようなものを創設するなど、若者が相談しやすい環境の整備が必要である。例えば福祉系の大学生が実働の中で学びながら、相談員として活躍してもらうことも有効であると考えている。当然専門性の高い事案に対するバックアップ体制も整える必要があるが、大学生の参画を促していくことも、若者が相談しやすい環境を充実させる手法の1つであると考えている。

5 谷上地域等における避難所の設置について

【質問】 植中雅子

北区の花山地区、谷上地区における避難所は、花山小学校、山田中学校等だが、対象エリアが広く、住居から避難所までの距離が遠いことや高低差が激しいことなど、高齢者は災害時に避難することが困難となっている。災害発生時に安全を確保できる環境の充実が不可欠で、早急に対応する必要があると考えるが。



【答弁】 油井副市長

引き続き花山地区、谷上地区における緊急避難所や、区独自の制度であるが、緊急退避所の設置など、避難所機能のさらなる確保に向けて努力していきたい。

【再質問】 植中雅子

花山台、上谷上、大池見山台、西大池、幸陽町、花山中尾台の自治会、婦人会、老人会、民生委員等計108名が、新たに建設予定の真星病院別棟を緊急避難所に指定して、市が支援できないかという趣意書を出している。理想的な避難所のモデルケースになるとも考えられる。病院に向けた支援を市として実施すべきかどうかをお伺いしたい。

【答弁】 油井副市長

現在本市では、医療機関を緊急避難場所や避難所に指定してはいない。真星病院の増設に関する財政的支援は困難であると考えているが、緊急避難場所への指定については、今後真星病院並びに関係機関と十分協議をしていきたい。

【再質問】 植中雅子

市が独自で避難所を作るのではなく、病院あるいは企業等との協体制をとっていけば、全国でも珍しい例になるかと思う。



廃園されている谷上幼稚園を改築して、避難所として指定してほしいとの要望も出ているがどうか。

【答弁】 油井副市長

旧谷上幼稚園については、耐震改修工事も完了しており、改修の必要もなく、避難所整備ができるものと考えている。

【要望】 植中雅子

- ①神戸市国民健康保険の特定検診受診後に応募するともらえる、はり・きゅう・マッサージ施術の割引券は、年齢制限を引き上げていただきたい。
- ②保育ニーズが減少していく中で、待機児童ゼロの実現に尽力した保育所や私立幼稚園の運営も支えていくことが大事である。市として十分な支援をお願いしたい。

自由民主党神戸市議員団

http://www.jimin-kobe.com

発行 No.0411-MO

自由民主党神戸市議員団
神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 078-331-8181 内線 7060

自由民主党神戸市議員団 兵庫区支部
神戸市議員

守屋隆司

http://www.moriya-jp.net

神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 078-331-8181

市政報告 (兵庫区版)

—— 決算市会報告会のご案内 ——

前略

皆様よりの日頃よりのご指導ご支援に心より感謝申し上げます。

コロナ禍の中、収束が見えない厳しい日々が続いていますが、お元気でお過ごしのことと存じます。

私、守屋隆司が決算市会において行いました、代表質問、決算特別委員会局別審査、常任委員会等での質疑についてご報告させていただきたく、下記の通り、市政報告会を開催いたします。

何かと公私お忙しい時期とは思いますが、是非ともご参加くださいますよう、お願いいたします。

神戸市議員 守屋隆司

自由民主党神戸市議員団兵庫区支部

① 日時) 令和4年12月17日 (土曜日) 午後5時より6時まで

会場) 瑞龍寺 兵庫区吉田町3-5

② 日時) 令和4年12月18日 (日曜日) 午後1時より2時まで

会場) 天理教兵港分教会 兵庫区須佐野通2-1

ご不明な点は自民党神戸市議員団兵庫区支部(守屋隆司事務所内)までお願いします

☎078-512-5722 fax078-512-5723 📠080-6173-9737

Eメール moriya@jimin-kobe.com t.takashi@outlook.jp

市政報告会申込書

ご代表者名: _____

	いずれかを○で 囲んでください	氏名	〒	住所	TEL
1	①・②・両方				
2	①・②・両方				
3	①・②・両方				

F A X

078-512-5723

おかむら正之

第2回定例会【2022年10月25日】

I LOVE KOBE WE LOVE KOBE BE KOBE

ごあいさつ こんにちは、神戸市会議員おかむら正之です。秋も深まり朝夕はめっきり冷え込む様になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？ウクライナでは戦争終結の糸口が見つからず、市場では近年まれに見る原油高、円安が続いています。この状況は市民生活に直結しており、神戸市といたしましても看過できない状況にあります。国、県と連携して、議会・行政と共にこの国難に対策をうってまいります。



▲第2回定例会【2022年10月25日】

神戸空港の国際化決定!



神戸の空と海の融合・連携について

神戸空港は、2030年をめどに国際線の就航が認められることになりました。神戸のみならず関西全体の経済の活性化につながる大きな可能性を持つものとして、期待が高まるところです。

現在神戸空港では貨物を取扱っていませんが、開港当初は客席下部にコンテナを積載していました。航空機材の小型化により2013年に休止しましたが、国際化を契機に航空貨物の需要動向やニーズ等を把握し、取扱いについて検討中です。低コスト・大量輸送の海上輸送と航空輸送のもつ速達性のそれぞれの強みを生かし、空運・海運を融合・連携させることで、空港とともに神戸港や物流ネットワークの活性化が見込めると考えています。特徴ある国際空港として世界にアピールし、経済効果を最大限神戸に取り込んでいくために、人と物を運べる空港としての発展を目指しています。



利便性に優れた神戸港と神戸空港▲

エアポートセールス

神戸空港がインバウンド誘致・貨物取扱の増加などで着実に成果を上げるには、空港の利便性・機能性や神戸の立地・街の魅力について就航先の方々に知っていただく必要があります。エアポートセールスは非常に重要です。

2025年大阪関西万博を契機とし、神戸の魅力発信プロモーションを強化するため、関西エアポート㈱等関係機関と連携し取り組んでいます。諸外国都市からの神戸空港への国際線就航に対する期待や要望に沿えるよう、観光・ビジネスの新産業参入についての幅広い議論検討を行いながら、全市一丸となってエアポートセールスを戦略的に進めてまいります。

2025年大阪関西万博に向けたインバウンド観光戦略

- ▶神戸の多様な魅力背景にしたコンテンツ構築
- ▶公共交通インフラ・宿泊施設等の駅前整備
- ▶SNS等による神戸の魅力発信プロモーション など

CONPAS エアポートセールス

空港や自治体によるマーケティングおよびプロモーション活動のことで、インバウンド誘致には欠かせない取り組みとなる。

フライ&クルーズ

飛行機(フライ)と船(クルーズ)を組み合わせる旅行を『フライ&クルーズ』といいます。神戸空港に就航予定のアジア各国においてもクルーズの人気は上昇しています。各港がクルーズ客船の誘致に力を入れているなか、多くのクルーズ客船が発着し、空運・海運の連携した神戸はまさに『フライ&クルーズ』に最適です。アジア諸港と連携し、客船と飛行機を組み合わせたツアーを増設するほか、アジア地区における乗り換え便による欧米からの誘客を検討しています。今後の国際線の就航先を注視しながら、海外の旅行会社に対してもポートセールスを行い、交流人口の拡大に向け多様な展開を積極的に進めていきます。

より安全で便利な神戸空港に

災害に強く信頼される空港であるため、市全体として南海トラフ地震や津波に備えた対策を進めています。また、市民のみなさんにとって利用しやすい空港であるよう、スマホで駐車場の空きを確認できるように提案するなど、さまざまな働きかけを行っています。



神戸空港駐車場▲

安心・安全な学校給食について

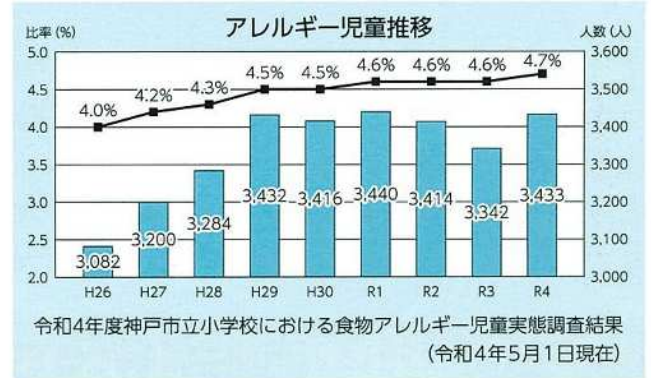
子どもたちにとって、学校給食は大きな楽しみの一つです。適切な栄養を摂るだけでなく、給食を通じて学校生活を豊かにすることや食文化を学ぶことなども目的とされており、アレルギーのある子どもたちもこれらの機会を十分に得ることができる学校給食を目指しています。

神戸市の給食においては、卵を除去した料理を提供するなどアレルギー対応を実施し、誰もが楽しく安全に食べられるよう努めているところです。しかし給食とは別にお弁当を用意している家庭もあり、よりきめ細やかな対策が求められています。安全性を最優先した上で、食物アレルギーのある子どもたちが安心して給食を食べることができるよう対策を進めています。

また、食物アレルギーに関して理解を深める学習を行い、子どもたちが互いに理解して給食を楽しめるよう各校で取り組んでいます。



▲第2回定例会【2022年10月25日】



学校における食物アレルギーの対応

パン 乳・卵を使用せず、当日の朝に焼いたパンを提供しています。

おかず できる限り、2品のおかずと同じたんぱく質源が入らない献立にしています。

そば、落花生は献立に使用しません。卵を調理する場合は十分に加熱したものを提供します。卵アレルギーのある児童を対象に調理の最終段階に卵を除去して提供しています。

油 アレルゲンとなる大豆油は使用しません。

デザート 乳アレルギー児童に、乳を含むデザート(アイスクリーム・ヨーグルト)を提供する場合は、代替品を提供しています。アイスクリームやヨーグルトは卵を使用していません。

給食献立の使用食品一覧表には、使用食材ごとに、厚生労働省が定めている「特定原材料」7品目とそれに準じる原材料21品目の28品目を表記しています。

学校給食での食育の推進

給食は、準備・会食・片付けなどの一連の活動を行うことにより、食育の「生きた教材」と言われています。正しい手洗い、配膳方法、はしの使い方、食事のマナーなどを学び、感謝の気持ちを育てます。また、子どもたちが郷土の食文化に興味を持つよう、神戸ならではの献立を工夫しています。



給食で地産地消

神戸市では、学校給食を食育の生きた教材として活用するために、市内産生鮮野菜の使用に努めるなど地産地消に取り組んでいます。米は北区や西区で収穫されたものを使用し、生鮮野菜は中央卸売市場(本場、東部)から全て調達しています。神戸市産の旬の野菜が豊富な11月に、神戸の食材をふんだんに使用した「こうべ特産給食」・「神戸特産ランチ」を提供しています。



オーガニック給食の実現に向けて

子どもたちの安全や、環境面などを考慮して、オーガニック給食を推進したいと考えています。明石市では、「地産地消 無添加給食の請願」が採択され、オーガニック給食の実現に向け取り組んでいます。費用面など課題は多くありますが、まずは、月に1回、学校単位で一部の食材についての試行的な実施など、保護者のご希望も考慮に入れ前向きに検討したいと思います。

WHAT'S NEW KOBE 神戸市からののお知らせ

新型コロナ オミクロン株対応 ワクチン接種のご案内

オミクロン株対応ワクチンの接種が、前回接種から最短で3か月後に接種を受けられるようになりました。順次、接種券を発送します。

▶対象者：1・2回目接種を完了している12歳以上の全ての方
※接種には原則予約が必要です。予約には接種券が必要です。



自宅療養の方にも、しっかり対応します



下水から肥料へ 「こうべSDGs肥料」を販売

東灘下水処理場から出る汚泥から、リンを取り出しつくられた肥料を「こうべSDGs肥料」として一般の方向けに販売します。

- ▶販売価格：一袋1kgで1,000円程度を予定
- ▶発売時期：令和4年(2022年)12月中旬ごろ～
- ▶販売場所：JA直売所、市内ホームセンターの予定



新生児子育て世帯への 緊急支援給付金

新生児を迎え養育する世帯は、その生活を応援するため、神戸市独自に給付金を支給します。

- ▶支給額：新生児1人あたり5万円
- ▶対象となる世帯：令和4年4月1日から令和5年3月31日に生まれた新生児を養育する神戸市在住の世帯



発行：自由民主党神戸市議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号

TEL.078-322-5846



神戸市会議員



岡田ゆうじ

自由民主党神戸市会議員団市政報告

2022.11 No.43 口と全身の健康

今年6月に公表された「経済財政運営と改革の基本方針 2022」、通称「骨太の方針」において、「国民皆歯科検診」が盛り込まれ、更に「全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の蓄積」という表現も付記され、口腔内の疾病が全身の健康状態に影響するという当たり前の考えが、ようやく政府の方針の前提となりました。口腔内の疾病の代表例は歯周病で、本人の自覚症状が遅いため、「皆」歯科検診で早期発見する以外対策の方法がありません。

私はかねてより、人口100万人以上の都市11市で神戸市だけが「節目健診」を実施しておらず、「歯周病対策後進市」であることを議会で指摘し続けてきました。私の度重なる要請の結果、60歳でも検診が行われるようになり、一応10年ごとの節目健診は行なわれるようになりましたが、名古屋市のように20歳から5年ごとの節目健診を行っている市に比べると、その差は歴然です。

また歯科医に対する委託検診単価も、全国では1件当たり5,320円の市が多いわけですが、神戸市は何と3,720円、11市でワースト1です。

お口の健康は全身の健康とQOLに決定的な影響を持つ。このことをしっかり政治の場でも主張を続けていくと共に、高齢者や介護が必要な状態になっても、しっかりお口で食べ物を食べ、味わえる幸福寿命を伸ばすよう、今後も市政において全力で取り組んで参ります。

市名	実施年齢									委託単価
	~39	40	45	50	55	60	65	70		
川崎市	-	○	×	○	×	○	×	○	8,096円	
さいたま市	-	○	○	○	○	○	○	○	6,941円	
横浜市	-	○	×	○	×	○	×	○	5,560円	
札幌市	-	○	×	○	×	○	×	○	5,320円	
広島市	30,35	○	○	○	○	○	○	○		
仙台市	20,30	○	×	○	×	○	×	○	5,071円	
名古屋市	20,25, 30,35	○	○	○	○	○	○	○		
福岡市	35	○	×	○	×	○	×	○	4,931円	
大阪市	-	○	○	○	○	○	○	○	4,681円	
京都市	-	○	○	○	○	○	○	○	4,206円	
神戸市	-	○	×	○	×	○	×	×	3,720円	

回数・委託単価共に神戸市は最下位

歯周病「節目健診」の拡充と委託単価の改善について



フッ化物応用の

神戸市会議員
岡田ゆうじ

○委員 (岡田ゆうじ) 骨太の方針で、国民皆歯科検診が盛り込まれ、そこに、「全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の蓄積」という表現が入った。

要は口腔内トラブルは、お口の問題だけだと思われるわけだが、実際はもし菌が入ったらそこから全身に回る。そもそも人間というのは栄養は口からしか取れないので、やっぱり口が歯周病になったり口腔上の疾病、虫歯だけじゃなくいろいろな病気になってしまう。やがては必ず全身を病に至らせ、もちろん死にも至らせる。

お口の中の健康をしっかりとチェックすることが、健康寿命の増進—QOLのみならず、その人の生命を守る上で非常に重要だということが、骨太の中でもしっかりと全身の健康との因果関係ということで明記されたことは、非常に意義深いことだ。

しかし、私、三木 (元保健福祉) 局長の頃からずっと言っているが、この神戸市の歯周病検診というのは——人口 100 万人以上の政令市というのは全国で 11 市あるけれども、多くは5年ごとの節目検診を行なっている。だけど神戸市はやっていない。

高校生のときに検診をして、そこから社会に出て、次、いつ公的な検診をしてもらえるかということ、40 歳になるまでない。

また、歯周病検診の歯医者さんに対する委託検診単価が、全国では例えば1件当たり 5,320 円というのが多いが、神戸市は何と 3,720 円、要は 11 市ある人口 100 万人以上の市の中で断トツに低い。(中略)

改善をすべきではないか。当局の見解をお伺いしたい。

○花田健康局長 御指摘のように、神戸市の歯周病検診につきましては40歳、50歳、60歳で実施しているほか、75歳のときに後期高齢者の歯科検診として実施をしているところ。(中略)

御指摘のように、本市の検診単価につき、国庫補助の基準単価を用いているが、やはり他都市と比べて圧倒的に低い額になっているということは私どもも課題と思っている。今後検討を行っていきたい。

○委員 (岡田ゆうじ) 5年ごとの歯科検診という非常に重要なテーマもあり、名古屋市では自己負担を取ってないにも関わらず、検診単価が非常に充実しているという意見もある。

歯周病対策に共に取り組んでくださっている関係者の皆さんと、齟齬のないような形で拡充をしていただきたい。



審議の様子が YouTube
動画でご覧になれます!



<https://youtu.be/RYYZf9Jrr9o>



かわなみ

ただかす
《中央区》

“わかりやすい!”をモットーに
神戸市政に関わる
トピックをお伝えします!



令和4年11月30日、総務財政委員会にて
これまで分離・分割発注の推進を主張してきましたが、定期的
に神戸市の各種業界団体と意見交換をする中で、まだまだ改善
いただきたいという声をお聞きし、河南(かわなみ)が質疑させて
いただいた内容を報告します。

神戸の中小企業を大切に

今回の
報告

『地元でできる仕事は地元業者に!』

競争入札に関する質疑をしました

※以下、令和4年11月30日 総務財政委員会での質疑抜粋・要約

かわなみ質疑



指名競争入札に辞退が多いことについて

民間の仕事が大変繁忙であるということの理由や、入札に人員を割くことができないという声や、一方で、業界団体側からすれば、分離・分割になっておらず、入札を辞退せざるを得ないというような話も耳にしますか?



官公庁入札における「契約形式」は、大きく3つに分類することができます

- ◆一般競争契約……希望者すべてを入札に参加させる
- ◆指名競争……契約特定の条件により発注者側が指名した者同士で競争
- ◆随意契約……競争入札によらずに任意(独断)で決定した相手と契約

中小企業者に受注のチャンスが増える「分離・分割発注」

- ◆分離発注……公共工事の工程や工区を細分化して、多数の業者に発注
- ◆分割発注……規模の大きな工事のときに実施される発注方式(例/1kmの道路工事を発注する際、100m単位で分割発注する)

かわなみ
MEMO

市 西尾行財政局長からの回答

1つの原因により辞退が発生するというだけではなく、例えば、時期や民間との工事の競合など、様々な要因の中、我々もできるだけ平準化をする中で、年度の一時期に集中しないような発注の仕方を心がけているところですが、残念ながら、辞退される事業者さんがあるのは事実。我々としても公平性と公正性を担保しながら、今後も地元の事業者さんを指名させていただき、できるだけ辞退を招かないような発注方法、契約方法、こういったものを検討してまいります。

別の視点では、発注、契約の公募をかけたが、応札がないことについては、神戸市はかなり高い率になっています。これも原因が様々あるかと思えます。監督者の数が不足しているなども含めて、発注方法の見直しについて内部的な議論をしているところです。できるだけ地元事業者に応札いただけるような発注方法を検討してまいります。

かわなみ質疑



落札できなかった場合、次の同様の入札には声がかからないことについて

落札できなかった業者さんが、次の同様の入札には声がかからないという話も聞きます。残念ながら取れなかった会社に対して、次の入札に関してチャンスを与えるということをお願いしたいのですが、どうなっているのでしょうか?

市 西尾行財政局長からの回答

次に同種の入札公募をかけ得るときは、ご指摘のように、その事業者さんを外すということになっています。これは数多くいらっしゃる事業者さんにできるだけ多く「参加する機会」を公平にお配りしたいという気持ちから、そのような取組をしています。

一方、同一業種、同一の契約内容とあり、特定の事業者さんに偏った指名をかけてしまうと、談合であるとか、そういったものにつながりかねないこともあり、リスクヘッジもあり、指名については次回は外れていただき、違う事業者さんの参入を促すといった取組をしているところです。



かわなみ
要望

2番札、3番札だった業者は「偏ってしまうから」という理由で次のチャンスから外されてしまうと、ファイティングポーズを取りたくても取ることもできません。果たしてこれが正しいのかどうか?何か考えられそうなものなのか?神戸市の中で今一度、考えていただくことを要望します。

今、直ちに回答があるわけではないのですが、1つの例を申し上げれば、地元に限っては、競争入札にしてしまう方法があります。ただ、業界団体の方がどう受け止められるかということも、我々としては注意深く見守っていく必要があるため、そのあたりを踏まえて検討していきたいと考えます。

かわなみ質疑



分離・分割発注について

発注する側は、分離するより一括で仕事を出したほうがスムーズですが、神戸の中小企業にとっては、下請にならず、その業務を入札で取りたいという気持ちがあります。これまで神戸市はその努力をなさっているとは思いますが、きめ細やかに業界の声をお聞きしながら、分離・分割発注に努めていただきたいと思います。いかがでしょうか?



市 西尾行財政局長からの回答

官公需法の中で決められました中小企業に関する国等の契約の基本方針の中で、国のほうからも分離・分割発注が求められています。以前から、地元事業者の皆さまにどのような形でお任せするかということで、分離・分割発注に取り組んできたところです。その結果、工事請負契約では、件数ベースで申し上げると、令和3年度になりますが、90.4%が「地元企業が受注」という、かなり高率でお受けいただいていると思っています。今後につきましては、業界団体の意見を聞かせていただきながら、「どういった形で発注をかけることが、地元企業の受注につながるのか」を常に研究させていただきながら対応していきたいと考えています。

公共工事にも地産地消を

公共工事でも、私たちの税金と仕事と、お金を回転させることによって、地域経済の活性化につながります。PFIやデザインビルドなど様々な入札の方法が生まれる中で、一括で大手企業に任することが必要な場合もあるかもしれませんが、これまで以上に分離・分割、神戸の中小企業を大切にさせていただくということ、よろしく願います。

- ◆PFI…公共施設等の建設、維持管理、運営等、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方法
- ◆デザインビルド…設計と施工の両方を単一業者に一括して発注する方式



令和4年の予算特別委員会(2022年3月7日)に、河南(かわなみ)が神戸市経済観光局に質疑、要望しました『布引の滝の案内看板』の設置が実現しました!日本三大神滝と言われている『布引の滝』について、地元の方にも、観光に訪れてくださった方にも、より詳しく知っていただけるようになったことを報告します。

実現!

今回の報告

布引の滝に案内看板が設置されました

雄滝 おんたき

「雄滝」は高さ43mから流れおちる、壮大かつ神秘的な景色が楽しめます。



▲看板設置前の雄滝前



▲看板設置後の雄滝前

雌滝 めんたき

雌滝は美しい2段の滝で、豪快な雄滝とは一味違った、優美で上品な風情を楽しむことができます。



お手洗いの場所も地図に載っていて安心して散策が楽しめます!

設置された11月25日(金)以降に、早速現地へ確認へ。実際の看板作成にあたっては、盤面構成や表記等に関するアドバイス等もさせていただいたのですが、**よりわかりやすいロードマップ、地図に距離の記載、説明文の英語表記、QRコードからWEBサイトとの連携**などの意見も反映いただきました。

※現地の看板に記載のQRコードの読み取り先は、右のQRコードからもアクセス出来ます。新神戸駅から神戸布引ハーブ園へのおすすめルートや名所案内がWEBで紹介されています。(令和4年12月現在)



「神戸の山と自然」を楽しむ情報が載っています
<https://kobe-rokko.jp/mtrokko/nunobiki>

令和4年3月、河南(かわなみ)から経済観光局へ質疑しました

※以下、令和4年3月7日 予算特別委員会での質疑抜粋



かわなみ 質疑

JR新神戸駅からわずか徒歩10分程度という立地にも大変恵まれた『神戸を代表する観光スポットの1つ』であるが、北野の異人館や旧居留地、メリケンパークなどに比べると、全国的な知名度はまだ高くないと感じる。近場で自然を感じる観光スポットが人気を集めている今こそ、**布引の滝のプロモーションを強化**していただきたい。

末若経済観光局担当部長からの答弁

周辺にはいくつか看板があるが、まさに滝を望むデッキのところに今看板が無い状況。看板の設置について調整を始める。プロモーションと相乗効果を十分発揮できるように、内容やデザインも工夫しながら、**設置に向けて関係局と調整**を行っていく。



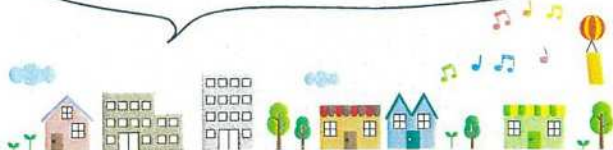
かわなみ 要望

観光スポットにふさわしい『布引の滝』の看板設置を要望

実現!

令和4年11月25日(金) 看板が設置されました!

道路整備や街の美化、公園、交通機関など暮らしの中で気になるチョット不便に思うこと、お住まいの地域のこともぜひお聞かせ下さい。



かわなみのひびこり



今回の「実現」は、地域の方からも『神戸市は布引の滝を観光スポットだと思っているのか?』と苦言を聞いており、私自身も布引の滝周辺へよく行きますが、看板や説明書に一貫性が無いと気になっており、3月に質疑をさせていただき実現に結びついた一例です。これからも、地元の方だからこそ気になる暮らしのこと、地域のことを、神戸市に届けてまいります。

発行:自由民主党神戸市議員団 かわなみ市政報告vol.40 編集:2022年(令和4年)12月
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846
【かわなみ事務所】 〒651-0095 神戸市中央区旭通2-3-5 TEL.078-806-8633 FAX.078-806-8653
■ contact@55kawanami.com ■ http://www.55kawanami.com

神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団

かわなみ

ただかす 《中央区》



市政に真面目に全力投球!



坊 恭寿

【令和4年度主な諸役】
第103代 神戸市会 議長
阪神水道企業団議会 議運委員長
観光交流都市推進神戸市議員連盟 会長
海洋産業都市推進神戸市議員連盟 会長
日米友好神戸市議員連盟 会長
神戸市会保育を考える会 会長 等

ごあいさつ

皆様には日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

去る6月13日をもって慣例により神戸市会議長を退任致しました。議長在任中の1年間、議会改革への強い思いから「神戸市会議員定数の削減」「議会基本条例の改正」「広報委員会の設置」を進めて参りました。神戸市会議員定数の削減について、現在の69議席から65議席へ4議席減に、更に次の期には5議席減を前提に60議席とする提案を行い、議長退任間際の本会議で来期5議席減を前提に今期中で4議席減の条例改正案を可決致しました。当初は今期中に9議席減を目指しましたが、1人でも多くの議員から賛同を得るため2度に分けて定数削減を図る事となりました。

議長在任中の議会改革と公務の活動報告を作成しましたので、ご高覧いただけますと幸いに存じます。

退任後もこれまでの経験を活かしながら4月までの残された任期を引き続き神戸市民のしあわせの為に一意専心、精進して参ります。皆様におかれましては更なる叱咤激励を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

～心から感謝を込めて～

神戸市議員

やすなが
坊 恭寿

神戸市会 議員定数4削減！ 将来的に計9議席削減！



【政令指定都市 人口と議員定数のグラフ】



条例改正！議長の活動範囲を全国に！

～神戸の復興の経験を全国自治体へ～

神戸は震災によって全国から支援を受け復旧復興を進めてきました。そのおかげで財政力も政令指定都市でも中位程度まで回復し、震災後止まっていた市内中心部をはじめ各区役所や駅前の再整備もスタートする状況になりました。そこで全国の自治体に恩返しをとの思いから、条例に議長の役割を追加し、震災復興の経験を生かすべく全国自治体の諸問題を解決する為、積極的に活動できるように改正いたしました。



全国市議会議長会は、日本全国815団体の議長により構成される組織です。持続的な議会改革等を進め、市民に魅力ある地方議会を目指し、活動しております。

市会情報発信 広報委員会を設置！

神戸市会に広報委員会を設置する案を提案し、今年度は準備期間とし、来年改選後に正式に広報委員会が設置されます。これまでの広報や公聴の在り方を見直して、ITを活用し議員の発言や活動がよりわかりやすく市民に伝わるよう広報の在り方を大幅に改善して参ります。

現在
神戸市会だより+神戸市会議録・録画
+新聞記事



IT・SNSなどの活用
(坊が考える一例です。)



オープンで分かりやすい神戸市会を目指します!

坊やすながの議長公務活動報告



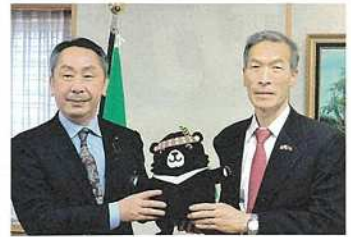
駐日ウクライナ特命全権大使来庁
本国の現状・避難民について伺う



議会で「ロシアの侵攻に対する非難決議」をする
IT人材や大学間の交流など具体的に進めている途中でした



神戸市に避難されたウクライナの方々へ貯まった支援募金を



台北駐大阪経済文化弁事処 向明德 新処長と親善を深める



有馬口の歩道、谷上や日下部の渋滞対策
箕谷北のトンネル等の事業充実を述べる



八多町 神戸市合併 70 周年
記念式典で祝辞を



千刈ダム(水道用で全国初!)豪雨・洪水対策・水位調整システム(治水)完成!大雨時に100万トン分の貯水量を確保できます!



神戸弘陵学園高等学校(北区)の女子硬式野球部が、第25回全国大会優勝・第12回全国ユース大会優勝し、とても誇らしく嬉しいです!



議長室に神戸セレクションギャラリーを創設!神戸の名産をPR!



神戸商工会議所 家次会頭来庁 R4 年度 神戸市政に対する要望受理



第70回 神戸菊花展覧会
表彰式 優勝旗贈呈と祝辞を



ルミナス神戸2 約1年半の時を経て運航再開の祝辞を述べる



建築家の安藤さんが寄贈した図書館「こども本の森 神戸」開館式(中央区)



ヴィッセル神戸 市役所を表敬訪問 社長・選手に花束贈呈と激励!



三木市議会 大西議長・(株)椋樹様から
コロナ禍の市民病院へ米粉スイーツ寄付



「再犯防止に向けた取り組みの強化」
法務省 加田 法務大臣政務官へ要望



世界初! 液化水素運搬船(オーストラリア⇒神戸) 褐炭を液化水素にして運搬するプロジェクト 完遂記念式に出席(神戸空港)



兵庫県・神戸市調整会議にて、更なる県市協調を強く意見する
(協議内容: 新型コロナ対策・魅力ある地域づくり・幹線道路整備・水上オートバイ対策等)



高藤知事から兵庫県功労者表彰を! 議長の経験を生かし、
初心を忘れず、市民の皆様の幸福度高い市政運営に努めて参ります!



お問い合わせ・あらゆるご相談は
神戸市会議員

坊やすなが まで

〒651-1301 神戸市北区藤原台北町2-11-6
TEL 078-983-1711 FAX 078-983-1719
E-mail yasunaga.bo@gmail.com



神戸市議員 坊やすなが
市政報告会 懇親会のご案内

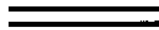


新春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様お元気で新年をお迎えのことと存じます。旧年中は神戸市議員 坊やすながの活動に、ご理解ご協力下さいまして心から感謝申し上げます。

年頭にあたり、坊やすなが市政報告会 懇親会を開催することとなりました。ご多用のことと存じますが、ご近所、ご友人お誘いあわせの上、是非ご出席下さいますようお願い申し上げます。



神戸市議員
やすなが
坊 恭寿



郵便はがき

料金受取人払郵便

651-1390



〈受取人〉

神戸市北区藤原台北町2-11-6

差出有効期間
2023年12月
31日まで
(切手は不要です)

坊やすなが事務所 行



市政へのご意見をお聞かせ下さい

お名前	お電話
ご住所 〒	
コメント欄	
茶話会・集会等で市政報告会をしてもよい。 ☉	

✂
キリトリ

✂
キリトリ

坊やすなが市政報告会懇親会

日時 令和5年2月4日(土) 午前11時～
場所 神仙閣 神戸店
会費 10,000円

ご出席・ご欠席

いずれかを○で囲んで下さい



お名前		
ご住所	〒	
お電話		
送迎バス	要・不要	
ご同伴者様	お名前	お電話
	ご住所	
	お名前	お電話
	ご住所	
	お名前	お電話
	ご住所	

※お手数ですが出欠のお返事を1月26(木)までに返信はがき
FAX 078-983-1719 もしくは 世話人までお知らせ下さい。

坊やすなが市政報告会懇親会

■ 日時 令和5年2月4日(土)
午前11時00分～

■ 場所 神仙閣 神戸店

■ 会費 10,000円



※先着受付のためお早めにお申込み下さい。
※北区各地より送迎バスをご用意しております。
※時節柄 開催が中止になる場合がございます。

■ 締切日 令和5年1月26日(木)

■ お振込先 三井住友銀行 藤原台支店
普6723900 ポウ ヤスナガ

■ お申込み はがきをご返信の上、上記口座にお振込み
頂くか、世話人・坊やすなが事務所まで
お願い致します。

■ 会場 神仙閣 神戸店
神戸市中央区下山手通2-13-1
TEL 078(331)1263
(新型コロナウイルス感染症防止対策を講じております。)

坊やすなが事務所

〒651-1301 神戸市北区藤原台北町2-11-6
TEL 078(983)1711 FAX 078-983-1719

自由民主党神戸市議員団

http://www.jimin-kobe.com

発行 No.0412-M0

自由民主党神戸市議員団
神戸市中央区加納町 6 丁目 5-1
電話 078-331-8181 内線 7060

自由民主党神戸市議員団 兵庫区支部
神戸市議員

守屋隆司

http://www.moriya-jp.net

神戸市中央区加納町 6 丁目 5-1
電話 078-331-8181

市政報告 (兵庫区版)

—— 第 2 回定例市会 1 1 月議会報告会のご案内 ——

前略

皆様よりの日頃よりのご指導ご支援に心より感謝申し上げます。

コロナ禍の中、収束が見えない厳しい日々が続いていますが、お元気でお過ごしのことと存じます。

11月議会本会議及び常任委員会等における質疑についてご報告させていただきたく、下記の日程で11月議会報告会を開催いたします。

何かと公私お忙しい時期とは思いますが、是非ともご参加くださいますよう、お願いいたします。

神戸市議員 守屋隆司

自由民主党神戸市議員団兵庫区支部

① 日時) 令和5年1月22日 (日曜日) 午後1時より2時まで

会場) 天理教高拝分教会 兵庫区菊水町 9-1-6

② 日時) 令和5年1月28日 (土曜日) 午後1時より2時まで

会場) 天理教西川口分教会 兵庫区荒田町 3-11-5

ご不明な点は自民党神戸市議員団兵庫区支部(守屋隆司事務所内)までお願いします

☎078-512-5722 fax078-512-5723 📠080-6173-9737

Eメール moriya@jimin-kobe.com t.takashi@outlook.jp

11月議会報告会申込書

ご代表者名: _____

	いずれかを○で 囲んでください	氏名	〒	住所	TEL
1	①・②				
2	①・②				
3	①・②				

FAX

078-512-5723



ごあいさつ

2023年(令和5年)新しい年を迎えました。

日頃から神戸市政へのご理解ご協力に感謝申し上げます。

3年越しの新型コロナウイルス感染に加え、ロシアのウクライナ侵攻により今年も厳しい年明けとなりました。コロナ禍は市民生活と地域社会に多大な影響を及ぼしました。しかし、昨年の半ばごろから引き続きの感染防止対策をしながら、ウイズコロナ(コロナと共存)そして、アフターコロナを見据えた取り組みが始まっています。まだまだ気を許す状況ではありませんが普段の生活に戻れる日を期待しながら過ごしてまいりましょう。

一方、ロシアのウクライナ侵攻は理不尽なロシアの攻撃により、ウクライナに多くの善良な市民の犠牲が出ています。世界に核の脅威をちらつかせながら殺戮と破壊を繰り返すロシアの暴挙は許されません。この戦争の出口はまだ見えてませんが、われわれの生活に影響する問題も多くはらんでいます。

議会ではこうした市民生活に直結する諸課題について多くの皆さんのご要望やご意見をしっかり受け止めお応えしたいと思います。今後ともこうした努力を重ねてまいります。



令和4年12月6日の一般質問にて

自民党会派を代表して市政一般について市長はじめ市当局に質問

質疑内容については大きく3問 紙面の関係上質疑は要点のみ報告します(令和4/12/6)

ブルーカーボンの取り組みについて

神戸空港島でJブルークレジットを申請・認可を受けた。クレジット売却益で民間団体によるブルーカーボンの保全創出活動の支援に活用する。空港島やポートアイランド、メリケンパークなど市民が身近にブルーカーボンに取り込める海域に生育調査を予定。ブルーカーボンの意義を多くの市民に伝え、取組をより積極的に進めていく。

観光分野では自然を生かした体験型コンテンツが重要。漁船から神戸の夜明けのシラス漁を見学、海の豊かさを体験。教育旅行の誘致でSDGsの取り組みの事例を学びたいとの声大きい。企業のSDGs関連施設の見学も進めている。

神戸空港国際化を見据えたプライベートジェットの受け入れ対応について

プライベートジェットの受け入れには、専用の格納庫や駐機場、旅客施設が必要。海外では運営、機体の整備・保管や運航支援など一体的なサービスが展開されており、このような施設は日本にはない。空港島においてこれらサービスを一体的に提供できる事業者を誘致したい。年度内には公募手続きを進めたい。

神戸空港の国際化は医療産業都市にとって大変大きなチャンス。今後、医療産業都市の海外展開は

- ① 海外企業の誘致も含め神戸の医療産業都市がアジアの拠点になることを目指す。
- ② シンガポールやタイをはじめ東南アジアの国々などをターゲットとして、地元企業の海外向けの市場や販路拡大を積極的に支援していく。



アマモの種まき(兵庫運河)



神戸空港の「国際化」がはじまります

子育て世帯への支援策と市内在住の大学生の定住について

人口減少対策として、子育て世帯の支援策を充実して人口流入をどう図るか。

神戸在住の大学生の8割が就職で市外に転出、この流れをどう食い止めるか議論しました。紙面の都合上割愛します。

神戸市会の本会議、予算・決算、その他各委員会の審議の様子は神戸市会インターネット中継(録画)でご覧になれます。

令和4年第2回定例市会 9月議会(9月14日～10月25日)

1. 第一分科会 企画調整局質疑 令和4年9月27日(火)

平野達司 ①人口流入出のデータに基づく分析について

都市のバロメーターは人口。神戸市の各区から明石市に対しては全て転出超過、また北区を除く全ての区から西宮市へは転出超過、宝塚市、川西市、伊丹市からは流入が見てとれる。

データを活用すべき。どのような要因で神戸市への転入を決めたのかを分析するべきだ。

辻企画調整局長 客観的なデータを活用し政策立案は重要。神戸市への転入なども、意識調査を行いながら、組み合わせて分析していくことが必要。

アンケート調査は、令和3年、昨年度に20代、30代の転入者を対象に実施した。移動のきっかけは、全体では本人や配偶者の就職、転勤、転職が大体47%。結婚が20%、ライフステージの変化が理由。

平野達司 分析結果からターゲットに対して費用対効果の観点から、どのような施策を展開していくのか。

辻企画調整局長 ライフステージに合わせて移動する20代、30代、ここをメインターゲットに考えている。

メインターゲットへの転入促進に当たり、交通利便性なり子育て施策の充実、駅前空間の高質化などの施策を展開し、より神戸の暮らしやすさを情報発信していくことが大事。今年度から従来の制度を再構築し、子育て応援賃貸住宅住み替え補助事業を創設。制度創設は、若年夫婦世帯、子育て世帯を対象とした上で、人口減少が強い兵庫区から西の6区を転入対象とし、よりターゲットを重点化した制度設計とした。

平野達司 居住のタイミングは、ライフサイクルで結婚、出産、入園、入学、この4つが家を住み替えるタイミング。そのタイミングで多くの人が移動する。明石市や、西宮市に対して神戸市から転出しないように施策展開も分析されているか。

辻企画調整局長 いかに転出を抑制していくかという取組は大事。

例えば西区から明石市へ転出を抑制していく、もしくは転入を促進していく。特に西神中央は、ターミナル性も高い駅のため特色をしっかりと生かし取組を進めていきたい。

平野達司 明石市のホームページで5歳ごとの階級別社会動態がある。これを見ると25歳から29歳が圧倒的に転入が多い。5つの無料という明石の施策が乳幼児もしくはこれから出産されるというタイミングの世帯にかなり響いている。

神戸市は、多胎児支援だったり、病児保育、児童館、高校生定期券補助、また多くの子育て支援団体による活動、学習支援がある。神戸市の0歳から18歳までの切れ目のない子育て支援情報をもっとインプットしていく必要がある。

神戸には大学がたくさんある。大学生に子育ての内容というのを深く認識してもらうのが1つの手。

神戸市には地域と社会の課題解決に取り組もうとする目的で大学生をいろんなプロジェクトにつなげる施策がある。子育て支援の活動に大学生をマッチングさせる。そうすることにより、将来の人口動態が変わってくると思う。神戸に残っていただける大学生が少なからず貢献できる意識をしていただくことにもつながるのではないかと。(私の意見を詳しく述べるも紙面の都合上一部割愛しました)

辻企画調整局長 ありがとうございます。思わず、聞き入ってしまった。

私も大学生をいかに地域貢献の課題の解決に参加していただくかは非常に重要な視点。

平野達司 地域活動の担い手の支援について

地域団体の高齢化が進み、地域活動の担い手不足が全国的に課題になっている。

次世代の地域活動の担い手として地域活動を実施している、検討されている方も結構おられる。行政として地域の人材育成という観点で支援すべきではないか。

辻企画調整局長 地域活動でやはり子育て、いわゆる子供関係の事業が非常に大きな切り口になってくる。具体的支援として、子供の居場所づくり事業の助成申請を一括で申請できる取り組みを進めている。市内で子供の居場所づくり事業205ヵ所を実施。地域福祉センターでは3割に当たる56ヵ所と聞いている。昨年の4月では26ヵ所倍近くになっている。またNPO助成ということで、NPO助成を実施。当初50団体ぐらいを想定していたが、最終的には、100団体近い団体を採択。このうちの大体4分の1が子育て世代の支援を行う。このような団体は、活動場所を探しているがなかなかない。経費負担も非常に難しいことも聞いている。活動場所を探している団体があれば、ヒアリングを行い、結果、マッチングをしていくことも積極的にやっていきたい。



企画調整局 9月27日質疑



子育てサロン

神戸市会議員平野達司(たつじ)事務所
神戸市兵庫区東山町2丁目8-61 マルシン市場2F
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじ HP



平野たつじ Facebook
神戸市の情報をお伝えいたします。

神戸市会の
本議会、委員会を
インターネットにて
閲覧できます。



神戸市会

平野達司 場所の問題もあるが、もう一つ課題になるのが講師の謝礼経費の負担。その経費について支援すべきではないか。

中野企画調整局担当部長 経済的な負担の軽減策で地域課題に取り組むNPO等に対して補助制度を創設した。活動経費に加え、活動の場の賃料とか、人件費など、運営に係る経費も含めて幅広く対応できる工夫をしたほか、補助金額は、1件当たり最大50万で、最大3年間の支援、2年目以降は、補助額を段階的に減らしていく、自立に向けた活動の継続を促すこととしている。



子供食堂



建築住宅局 10月4日質疑

2. 第一分科会 建築住宅局質疑 令和4年10月4日(火)

平野達司 住み替え支援制度の見直しについて

三宮の市街地や各区の主要な駅を中心に再開発を展開しているが、まちの魅力向上で、積極的に移住施策を展開することが大切。その中で、住み替え支援制度を持続可能な制度として所得要件を撤廃した当局のその目的は。

根岸建築住宅局長 都心・三宮の再整備、駅前空間のリノベーション、積極的なエリアの価値向上の取組に合わせて、住みたくなるまち、住み続けたくなる住環境の魅力を高めていくことが、移住施策において重要。

令和4年度の住み替え支援制度は、子育て応援賃貸住宅制度として、戦略的な移住促進と、郊外にある空き家活用の観点から、こうべ移住型、団地活用型の2つのメニューを創設し、所得要件の撤廃、年齢制限の緩和を行うなど、持続可能な補助制度としての再構築を図ってきた。

令和4年度の制度改正は、若年夫婦、子育て世帯の移住を応援する趣旨で、新婚要件、所得要件の撤廃、制限年齢の緩和を行った。

平野達司 制度設計の見直し、所得要件の撤廃の効果、どのように分析されているのか。

根岸建築住宅局長 市外からの転入実績は若干上回っている。これは所得制限を超える方を含めた効果が含まれている。

子育て応援賃貸住宅住み替え補助制度では、昨年度の市外転入実績を上回る件数の予算を、今確保している。

平野達司 建築住宅局単体ではなく、神戸市全体で取り組んでいただく必要がある。…(等の意見を述べ質疑のやりとりは、書面上省略させていただきます。)

平野達司 空家空地の対策について

人口減少対策として、使える空き家を放置するのではなく、戦略的に計画的に活用することが大切だ。防災福祉コミュニティ、防コミの皆さんは、日頃から自分たちのまちを歩いて点検をされている。空き家の状況は全て把握されている。建築住宅局は防コミと一緒に情報共有することで、リアルタイムな空き家の把握が可能になるのではないかと。

根岸建築住宅局長 空き家対策については、今年度は電力データを活用した取組をできないか。電力使用量、使用頻度から、使える空き家を絞り込めないか。一方、防コミなどの地域団体がリアルタイムな空き家情報を持っている。将来空き家の可能性が高い、高齢・単身の空き家予備軍の把握も期待ができる。今後どのように地域の空き家情報を共有・活用できるか、対策をやっていけるか共に考えさせていただきたい。

平野達司 1つの例ですが、兵庫区の平野商店街で、26歳の方が、空き家、空き店舗を自らひとりでDIYされ、できた店舗を、後輩に日替わりで体験経営をして、それぞれ日によって出す商品を変えたりしているいろいろな挑戦され、商店街の活性化に頑張っている事例がある。これも空き家のリノベーション補助、専門アドバイザーの派遣を利用されているがこういった空き家を、例えば子供食堂に利用できないか、もっとその学生などの若者を呼び込める仕掛けが必要ではないか。

片野建築住宅局副局長 平野商店街の事例は、リノベーション補助、アドバイザー派遣で空き家活用の初期投資資金とか専門知識の支援で、有効な活用事例になっている。

こういった先行事例の工夫とか成功を広報として発信をして、若い世代が関われるような事例として広めたい。

平野達司 地域活動をする方の場所づくりについて伺いたい。子供食堂だったり学習支援など、地域の活性化に意欲的に取り組んでいる方々は、資金や専門知識を持たない普通の一般の市民の方が少なくはない。その方々に活動拠点の確保は、なかなか厳しい状況で、空き家であったり、市営住宅の集会所などを活用できれば双方にメリットあるのではないかと。現在、市営住宅コミュニティ活性化事業として、事業者を募集しているが、事業者からの反応がなく進んでない。需要と供給のミスマッチが発生しているんじゃないかと。

岸建築住宅局長 御指摘いただきました空き家ですとか市営住宅の集会所を利用しているというようなケースも、実例としてある。利用の観点から、休所している集会所だけではなく、今実際に運営をしている集会所でも、使われていない時間帯と、休止集会所の運営の活用も併せて、今後使えるよう情報提供を考えていく。



空店舗の活用



大学生が運営する空店舗

山麓線・湊町線(鶴越～菊水町10丁目～夢野町2～湊川公園西口)から大型コンテナ車(海上コンテナ用セミトレーラー連結車)が通らなくなります。

令和4年6月29日(水)午前7時20分頃、兵庫区菊水町10丁目、市道山麓線西行き車線で海上コンテナ用セミトレーラー連結車の横転事故がありました。直後私は現場に出向き被害状況を確認しました。横転した際コンテナがガードレールを超え、歩道を完全にふさぎ、バス停の屋根を吹っ飛ばし、沿道のお店の一部を破損、営業にも支障が出ていました。現場の歩道は道路幅が狭く、また、小、中、高の学校の通学路でもあり、いつもなら通行人やバス待ちの人がおられる時間帯なので、いずれも被害がなかったのは不幸中の幸いでした。私は所管する市の建設局や、中部建設事務所に迅速なる対応策を依頼しました。7月6日の建設防災委員会ではこの事故の当局の対応について正しました。(市会だより令和4年4号に質疑の概要を報告)、当局は事故の再発防止に向けてハード面では次のような対策を講じました。

- ① 減速を促す路面標示(減速マーク・西行、東行とも)注意喚起看板の設置10・1完了
- ② ガードレールの復旧、ドライバーへの視線誘導標の設置10・3完了
- ③ 現状復旧のガードレールよりもより強固なガードレールの設置をあわせ設計中
- ④ 地形上、道路の勾配が逆になっており修正するため設計中

一方、この市道山麓線は、以前から沿道の住民からの騒音や振動の苦情が多く、これが頻繁に通行する大型車両に起因するためその対策が求められていました。過去にも同様の事故があり安全性の面からも危惧されています。

11月29日の建設防災委員会で前回に引き続き菊水町10丁目の事故について更なる対策を求めました。

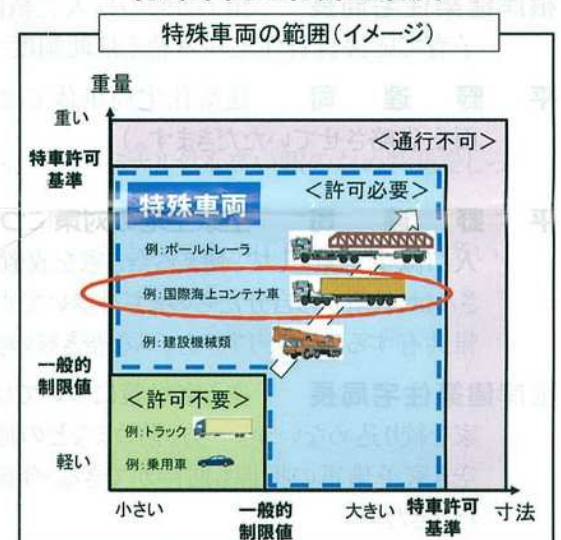
建設局林局長からは山麓線・湊町線(鶴越～菊水10～夢野2～湊川公園西口)における大型車両・国際海上コンテナ車の通行を制限し、国道2号・175号・阪神高速や山麓バイパスの利用に切り替えていただくよう8月下旬から業界に理解を求めているとのこと。

12月から海上コンテナに限り新たなこの特殊車両通行許可を認めない方向で進めているとのこと。許可は2年間有効なので2年後には海上コンテナ車の通行は山麓線・湊町線からなくなることとなります。



太線が大型コンテナ車が通らなくなります

特殊車両通行許可制度



特殊車両通行許可制度とは

車両制限令上の最高限度を超える車両の通行は道路管理者の通行許可が必要となり、山麓線・湊町線は神戸市建設局道路管理課が道路管理者です。

海上コンテナ車は許可期間は2年間で、すでに許可をえていれば通行可能ですが、12月以降の新たな申請は不許可になりますので通行車両も段々と減少していきます。

当該区間のコンテナ車は1日当たり2～300台です。

4. 第一分科会 交通局質疑 令和4年9月29日(木)

平野達司 地下鉄の駅の改札のスペースの有効活用について

西神山手線の湊川公園駅、近くにはたくさんの市場商店街がある。この駅でワゴン販売ができないか。また、自動販売機が置けないかなど具体的な取組を検討する必要があるのではないかな?

附帯事業の収入と駅の利用者の利便性の向上や駅周辺の店舗と関係も築いて、支援も含めて、効果も期待もできるのではないかな?

(質疑の詳細は、割愛しますが、当局の習田副局長の答弁から湊川公園駅のワゴン販売などに来年から実施の方向です。)

平野達司 インバウンド顧客の取組について

外国人観光客をターゲットに、沿線施設、市場商店街、兵庫大仏、兵庫津、またそれぞれ沿線の神社もセットした乗車券の販売など、市バス、地下鉄を利用してもらえる取組について質問した。(質疑の詳細は、割愛しますが、「神戸の観光資源がたくさんある。便利に回遊いただける更なる商品開発を検討する」など前向きな答弁がありました。)

平野達司 新しい取組について

リノベーション・神戸によって、地下鉄沿線の活性化や、乗車増につながると思うが、収入増に向けた取組として、現時点でほかに考えられていることがあるか。

城南交通局長

新長田、三宮駅の東コンコースのリニューアル、駅の快適性、イメージアップを図るために、全駅の全トイレの洋式化、それから温水洗浄便座の設置を検討している。

こういった取組、リノベーション・神戸と総合し、地域の顔であり玄関口でもある駅のにぎわいを生み出し、地下鉄沿線全体のブランド力、魅力度の向上を図り、見違えるような神戸づくりに貢献し、定住人口、交流人口、関係人口の増加、乗客増へつなげていきたい。



湊川公園駅 ここにワゴン販売

平野たつじ市政報告会 開催のお知らせ

発行所

自由民主党神戸市議員団
神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 331-8181
内線 7060



日頃から市政へのご理解、ご協力を心より感謝申し上げます。

2019年4月の神戸市議員として初当選させていただき1期目の任期もあとわずかとなりました。その間、多くの皆様のご意見、ご要望をいただき、諸課題をしっかりと受け止め職務を遂行して参りました。

これまでの活動報告や神戸市政についてご報告させて頂きたく【平野たつじ市政報告会】を下記の通り開催致したくご案内申し上げます。

コロナ禍であり、感染対策をしっかりとって対応いたしますので、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

なお今春行われます統一地方選挙（神戸市議員選挙）の日程は

3月31日（金）告示、4月9日（日）投票となっています。

神戸市議員（兵庫区）

平野達司

◆とき 2月17日(金) 18:00～19:15
2月18日(土) 14:00～15:15
(両日とも同じ内容となります)

◆ところ 神戸木材会館5F(兵庫区大開通2丁目3-18)

ご出席の方は、お電話、FAX、メールいずれかでお申し込みいただけますようお願いいたします。

①お電話：078-531-8780 ②FAX：078-531-5301

③E-mail：th.tatsuji.hirano@gmail.com

— FAX (番号531-5301) でのお申し込み —

2月17日 or 2月18日 参加します

会社名・お名前	ご住所	お電話番号	メールアドレス

神戸市政報告

灘区版

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員

灘区

吉田健吾

よし だ けん ぞ

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

■編集・発行：
自由民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846
<http://www.jimin-kobe.com>



決算特別委員会にて質問する
神戸市会議員 吉田健吾

特集 令和3年度決算特別委員会で「福祉局」「危機管理室」「消防局」に対し、局別審査を行いました。議事録(抜粋)を掲載いたしましたので、ぜひ、ご一読ください。

吉田健吾の議会での質問が、様々な政策の実現につながり始めています。

市立学校における「学年(チーム)担任制」モデル実施へ



令和5年4月より「学年(チーム)担任制」を、市立小学校2校・中学校2校に導入します。政令市においては、一部の都市で学校が独自に取り組んでいる例がありますが、教育委員会が主導的に方針を示し取り組むこととなったのは、神戸市が初となります。

例)2学級に3人の教員が週ごとに入れ替わりながら学級業務を行う

目的 教職員が多面的な視点で児童生徒と関わり、児童生徒の変化に気づく機会を増やす。

チーム担任制については令和3年9月議会の質疑で提案しました。

2030年をメドに神戸空港に国際定期便が就航へ!!



神戸空港国際化は3空港(関空/伊丹/神戸)懇談会の中の神戸空港の在り方で、2025年に国内線の発着枠拡大と国際チャーター便就航、2030年の国際定期便就航の道筋が示されました。

その後、震災後に神戸空港を建設するときには「市税を投入しない」決議をしていましたが、切り替えて「あらゆる財源を活用」とする決議をしました。さらに現在は、サブターミナル整備基本計画の意見募集がされています。

令和3年度決算特別委員会 局別審査

福祉局・危機管理室・消防局に対し局別審査を行いました。

福祉局 2022年9月29日

児童発達支援センターについて

■質問：吉田健吾/児童発達支援センターについて、4つの役割機能を担うこととする児童福祉法が改正され、令和6年4月施行されます。児童発達支援センターの強化が必要と考えます。現状をお伺いします。

- ①幅広い高度な専門性に基づく発達支援、家族支援機能。
- ②地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能。
- ③地域のインクルージョン推進の中核としての機能。
- ④地域の障害児の発達支援の入り口としての相談機能。

■答弁：森下福祉局長/本年度は民間の各事業者に対し、現状の取組内容に関するヒアリングと意見交換を行っています。その中で、児童発達支援センターの役割や機能が一般に周知されていないと御指摘いただいています。一般の児童発達支援事業所を含めて地域の事業所等に助言、指導していかねばならない。

■質問：吉田健吾/私立のセンターには、求められる役割や機能に対して、人材確保や育成面で課題がある。また、厳しい報酬体系になっている。予算措置をして、人材を確保しやすくし、高度な人材を育てるような環境をつくっていく。実効的な支援が必要だ。

■答弁：若杉福祉局副局長/地域支援等の取組については、現時点で加算がない。令和6年の法改正に向け、地域における中核的な支援機関としての役割・機能の波及が促される報酬体系になるよう検討されています。市として支援策を検討したい。

障害者就労について

■質問：吉田健吾/市内には障害者雇用の義務のある事業者は1,325あり、法定雇用率を達成していない事業者は半分以上と聞いています。事業者それぞれの状況を分析して、ターゲットごとに効果的なアプローチが必要と考えます。ご見解をお伺いします。

■答弁：若杉福祉局副局長/障害者雇用への関心に結びつけるため、オンラインセミナーを7月から開始しています。関心が高い企業の方に対し、業種別の企業見学会や意見交換会、1日職場体験も予定しています。採用前実習や面接への同行、採用後の職場定着支援を行っています。また、動画の活用も必要と考えています。

■質問：吉田健吾/約1,300社の対象企業に対してしごと開拓員が全市に4名で、はたして目指すべき社会の実現に近づくことができるか。マンパワーを増やす必要があるのではないかと。

■答弁：若杉福祉局副局長/いろいろな新しい形での取組を始めていこうとしているところなので、まずそこで必要となっている支援を把握した上で、今後の体制について検討したい。

ウラ面に続きます▶▶▶

この冬は新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行の可能性があります。

神戸市 新型コロナウイルス専用健康相談窓口 078-322-6250 (24時間受付 多言語対応)
●新型コロナウイルスの感染を心配されている方 ● 予防・感染症に対する相談のある方 ● 感染者と接触があった方

▶▶オモテ面からの続きです

神戸市の障害者雇用について

■質問:吉田健吾/神戸市職員採用で、障害者法定雇用の現状はどうなっているのか。仮に達成できていないのであれば、企業に対して説得力がない形になってしまう。御見解をお伺いします。

■答弁:若杉福祉局副局長/今年6月1日現在で2.34%。地方公共団体の法定雇用率2.6%を満たしていない状況です。雇用した職員の方が安心して業務に従事できる仕組みづくりを進め、障害者雇用の拡充を進めていきます。

超短時間雇用について

■質問:吉田健吾/障害者の超短時間雇用については、垂水区の商店街をモデル地区として研究を進めており、次のステップとして、他の地域や事業者にも展開していく発展期に入らなければならない。実証事業の成果と今後の展開についてお伺いします。

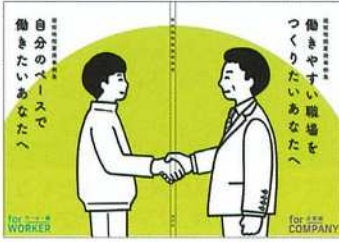
■答弁:若杉福祉局副局長/令和3年度までに就職された方延べ人数90人、雇用企業が55社です。この垂水プロジェクトを通じ、一定のスキームが整備されてきました。超短時間雇用の取組みを他の地域や、アプローチについて検討していきたい。

目指すべき社会とそのグランドデザイン

■質問:吉田健吾/福祉局として、目指すべき社会がどのようなものなのか、そのグランドデザインを市当局として示す必要があると思います。御見解をお伺いします。

■答弁:森下福祉局長/一般就労、福祉就労を含め、個々の特性、状況に応じて、本人とその企業がベストな状態で働き続けられることが大切だと思います。

この本、作りが秀逸だと思っ
てまして、実は両方表紙なんです。こちらは、障害者の方から、自分のペースで働きたいあなた、そしてこちら企業のほうから働きやすい職場をつくりたいあなたということで、我々が目指す世界ということになっています。



■要望:吉田健吾/労働力としてもしっかり活躍してもらう位置づけだと私は思います。そうすることで、市民全体の所得も上がり、社会保障費の抑制にもつながる。それが、これから目指すべき社会と考えます。障害があっても、生きづらいと思っている方も、豊かで幸せな気持ちで暮らせる神戸になるようお願いします。



危機管理局・消防局

2022年10月3日

灘消防署の建て替えについて

■要望:吉田健吾/すばらしい消防署に建て替えていただくことはもちろんのこと、地域や区民にとって有効な施設に再整備をしていただきたい。灘区にファイア・アドベンチャーという事業があった。見学受入れ施設ができることも併せて要望します。

防犯カメラについて

■質問:吉田健吾/地域団体が設置する防犯カメラへの補助事業を平成24年度から実施し、令和3年度末時点で市内に約2,900台設置されている。この地域カメラは設置については補助金で賄えるが、電気代等のランニングコストは、地域団体が負担している。地域の防犯に役立っているのか、地域がお金を出してそのかいがあるのかお尋ねしたい。

■答弁:筒井危機管理監/昨年度、抽出調査したアンケートで、防犯カメラの設置効果として、9割以上の団体が役立っていると回答いただいた。地域の治安がよくなったと感じるとの回答も6割を超えている。また、県警からは、強制わいせつなどの重要事件やその他身近な犯罪の検挙はもとより、人の命に関わる様々な事案の早期解決に効果があると聞いており、地域の防犯活動を補完するものとして役だっていると認識している。

■質問:吉田健吾/地域カメラがある一方で、子供や女性に対する犯罪防止を主たる目的として、令和2~3年の2か年で2,003台の直営カメラを小学校区の通学路や利用客の多い主要駅の周辺に設置してきている。直営カメラと地域カメラについてはどのようにすみ分けているのか。

■答弁:筒井危機管理監/地域カメラは、地域の内側にある狭路や公園等としているものが多い。市の直営カメラは、小学校や主要駅の半径500メートル圏内といった一定の設置基準を設け、子供や女性に対する犯罪の予防・解決という明確な目的の下、地域団体が余り設置しない幹線道路や公園等、いわゆる地域カメラの外側をカバーしている。こうしたすみ分けにより、相互に補完し合って、安全・安心なまちづくりを進めていく。

■質問:吉田健吾/公園管理会が建設局からもらえる緑化ボランティア助成制度の中に、あえて『防犯カメラの電気代は公園管理会の費用からは出せません』となっています。危機管理室として全体の防犯のためになるという観点から、建設局にも働きかけ、柔軟な対応ができないか。ご見解をお伺いします。

■答弁:筒井危機管理監/公園の防犯カメラ設置については、不法投棄等の防止につながり、公園の魅力アップにも寄与している。建設局とよく協議したい。

避難所について

■質問:吉田健吾/危機管理室では、避難所開設運営マニュアルのひな型を作成し、それをベースに地域ごとの実情に合わせてつくってもらえるよう取り組んでおられますが、実際に作成した地域団体が余りないと聞いています。地域住民が誰でも対応できるように、教員や職員が到着するまでの間の初動マニュアルを作成してはどうか。

■答弁:福井危機管理室長/地域における避難所開設運営マニュアルの策定は、指定避難所323施設のうち19施設にとどまっています。大規模災害発生時、特に初動時には地域住民の協力は不可欠です。避難所の開設手順であるとか、最低限のルールの周知など、地域住民がスムーズに初動対応を行えるよう、検討していきたい。

災害について

■質問:吉田健吾/警察、海上保安庁、自衛隊などと連携して活動することが必要な場合、お互いの組織のことをより理解していなければ災害現場でスムーズに活動することが難しいのではないかと。普段からどのような形で連携を図っているのかお伺いします。

■答弁:濱田消防局警防部長/他の防災関係機関との連携につきましては、阪神・淡路大震災を経験していますので、重要と捉えてこれまで取組を進めています。警察、自衛隊、防災関係機関と連携を強化し災害対応力の向上に努めたい。

消防団スマート情報システムと新機材

■質問:吉田健吾/消防団の方々からリアルタイムで画像などを送っていただいて情報収集をするというシステムですが、導入から3年経過しましたので、実績を教えてください。また、近年いろんな技術が発達してドローンのような新しい機材の導入もされていると聞いています。新機材や、その奏功事例、今後また新たに導入を検討しているものがあればご紹介いただきたい。

■答弁:鍵本消防局長/無料通信アプリLINEを使い、人工知能を介すことによって、地域の情報をスマホから送っていただくと、それがGIS上の地図に展開するというものです。台風14号の際、パトロール中の消防団から送ってこられた写真が通報につながったという事例もあります。ドローンをはじめ新しい取組を全国11になることを目指しています。



神戸市会本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継を行っています。ぜひご覧ください。神戸市会 検索

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員 灘区
吉田健吾





神戸市会議員

自由民主党神戸市会議員団

吉田健吾 令和5年 市政報告会のご案内

皆さま方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記のように市政報告会を開催いたします。ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

神戸市会議員 吉田健吾

記

- と き：令和5年2月1日(水)午後6時開会
- ところ：神仙閣(神戸市中央区下山手通2-13-1 078-331-1263)
- 会 費：7,500円
- お申し込み先：吉田健吾 〒657-0835 神戸市灘区灘北通3-2-8
TEL078-861-5566 FAX078-861-3456
ファックスかお電話で、ご連絡をお願いします。
- 会費振込先：みなと銀行 水道筋支店(普通) 4108269 吉田健吾

※新型コロナウイルス感染症対策の観点から、定員240名様(1卓8名様)とさせていただきます。
※受付での混雑を避けるため、会費はできるだけ事前にお振り込みいただきますようお願い申し上げます。

----- 切り取り線 -----

神戸市会議員 吉田健吾 市政報告会申込書

お名前(企業・団体名等)		ご住所	お電話
1	●お名前	〒	
	●企業・団体名等		
2	●お名前	〒	
	●企業・団体名等		
3	●お名前	〒	
	●企業・団体名等		
4	●お名前	〒	
	●企業・団体名等		
5	●お名前	〒	
	●企業・団体名等		

神戸市会議員

編集・発行：自由民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目 5-1

☎078-322-5846

<http://uenakamasako.jp>

福祉環境委員会委員長

まさこ

うえなか 雅子

市政報告会のご案内

市政報告会を、下記の通り開催させていただきます。
お誘いあわせの上、多数のご出席をお願いいたします。

記

令和5年3月12日（日）午後3時～
於： **すずらんホール**

令和5年3月18日（土）午後3時～
於： **ありまホール**

自由民主党神戸市会議員団 北支部

TEL (078) 583-8060

FAX (078) 583-4696

山下てんせい

自由民主党神戸市議員団 市政報告 vol.19

市政に関するご意見はスマホカメラで
QRコードを読み取っていただくと簡単です
メールフォームに直接つながります→



山下てんせい

検索

前回に引き続き、令和 4 年 6 月 27 日の質疑の内容を踏まえて市政報告をさせていただきます。
何かとあわただしい時期ではございますがご一読いただけますと幸いです。

山下 2021 年 6 月 25 日の本会議にて、私は西神中央公園の広場の積極的な利活用に向け、イベントやプログラムの実施に必要な照明・配電盤の整備について質問し、地域や民間事業者の意見を取り入れながら、日常的なイベントやプログラムの開催に必要な設備などを整備していく旨の答弁がありました。その後の進捗はどうなっているのかお答えください。

油井副市長 サウンディング調査の成果も踏まえながら、公民連携事業の可能性について検討を行うとともに、地域が実施する日常的なイベントやプログラムの改正に必要な設備の整備を検討している。

具体的には、地元が実施する桜まつりなどのイベントを行うに当たって必要となってくる配電盤について、広場付近への設置を進めていきたいと考えている。

そのために、まずはコロナ禍の状況でできていなかった地元との協議を進め、配電盤の設置場所など、具体的な整備内容について詰めてまいります。



西神中央公園の積極的な活用について

西神中央駅エリア再開発の進捗状況

← 西区役所



プレんティ

北側ロータリー
路上駐車等交通の妨げ
に対し課題有

プレんティ
イ広場



【R5】パークアベニュー

【R5.5】こべっこ
あそびひろば /
ユースステーション
完成予定

西神戸
医療センター

西神中央公園

パークマネージメントの観点からイベント利用の促進や活性化へ 配電盤設置はその第一歩

西神中央公園

西神戸医療センター

1994 年開院
配管・施設等老朽化
改修や、建て替えも考える必要あり

エキソアレ

西神中央駅

【R6 夏】駅西側広場
・バスロータリー

郵便局

警察署

- ・動線整備の工程変更
- ・タクシー乗り場上屋等 (※) の追加

- ※更なる魅力アップの取組み
- ・タクシー乗り場上屋新設 (広場内)
- ・バス乗り場上屋の一新 (バスロータリー内)

西神車庫用地の活用について

山下 令和7年度に廃止する地下鉄西神・山手線の西神車庫用地の一部について、売却に向けた民間事業者へのサウンディング調査を実施すると聞いています。人口減少対策や地域活性化及び交通局の経営改善の観点から、有効な利活用を検討すると聞いておりますが、売却予定の余剰地は広大な土地であり、西神中央エリアの将来のまちづくりに多大な影響を及ぼすと思われます。

そこで、東京などの遠方も含む多様な事業者に対し、幅広く活用可能性を調査すべきですが、どのように事業者に対し広報・アプローチをしていくのか、想定される活用方法と合わせて見解を伺います。

城南交通局長 西神車庫用地は活用可能面積が5ヘクタールと大きく、西神中央エリアのまちづくりの貴重な資源であると考えており、人口減少対策だけではなく、地域生活の利便性向上や地下鉄利用者数増加への寄与等、一体的に捉えて活用を図っていく必要があると認識している。

駅からの距離が比較的近く、集合住宅用地としての魅力は非常に高いと見込んでいるが、西神車庫の用地の活用は現時点では活用の具体的な方法について特定することなく、土地の事業可能性調査として、東京圏を含めた幅広い事業者を対象に公募によるサウンディング調査を行っていく。

山下 神戸にいながらにして東京の大学の授業が受けられるということも、この時代であれば考えられるのではないかと考えておりましたが、その基盤として、神戸で何ができるのかという視点も大事ではないかと考えています。そういった多様な提案というものを期待したいと思っています。令和7年と、もう目の前の話ですので、丁寧によくお願いいたします。



交通局

令和7年度をめどに
この土地を売却したい

スケジュール

R4年度 サウンディング調査
R5年度 調査をもとに売却準備



空家率
1.4% (164戸)

しかし集合住宅ができると
戸建て地域の空洞化の恐れがあり



山下議員の意見

- ・人的交流の促進
- ・昼間人口の増加
- ・地下鉄利用客増

を考えると大学等学術施設が良いのではないかと
みなさまのお考えをお聞かせ下さいませ

こちらをカメラで読み込んでいただくと
簡単にご意見を投稿できます。





改革の実績 神戸を前へ!

自由民主党神戸市会議員団はブレない改革を進めてきました。

実績1 ヤミ専従・不当な 政策介入の一掃!



市職員が勤務時間中に組合活動などを行う、いわゆる「ヤミ専従」の問題で、自由民主党神戸市会議員団の追及により違法・不当な支出等が明らかになりました。

ヤミ専従を常態的に行っていた市職員の委員長ら幹部は、市役所内の人事や予算の詳細にまで実質的な決定権を持つなど、市政の不当な支配を行っていたことなどが、第三者委員会等の調査で明らかに。自由民主党神戸市会議員団として、事実関係の全容解明のほか、違法な退職手当等の返還請求や関係者の厳正な処分、内部統制の再構築など、抜本的な問題解決を求める決議を提案・採択しました。

また、再発防止の為、市職員の不当な組織活動を廃止するための、市職員の組合費に対する天引き(チェック・オフ)を廃止する議員提案条例を提出。議会の多数の賛成を得て成立、施行に至っています。

実績2 議員定数を削減!



人口当たり議員数が福岡市や川崎市といった同規模自治体より多い現状を鑑み、自由民主党神戸市会議員団は早くから議員定数の削減を求めてきました。

粘り強い交渉と協議の末、議員定数削減条例案が提出され、自由民主党神戸市会議員団の安達和彦団長より提案説明。共産党などが反対したものの、それ以外の賛成多数により成立しました。この結果、2023年春の選挙より、東灘区、北区、垂水区、西区でそれぞれ1名減となりました。

もちろん議員定数だけで議会改革が完結するわけではありませんし、議員が減ることで議会活動が停滞することなどはありません。今後も議会の機能をさらに高め、市民の皆様の理解を深めて参ります。

実績3 半世紀ぶりの教育改革 「神戸方式」廃止!



2019年、市内の小中学校で、教員同士のいじめ、暴行・傷害事件が発生しました。その背景には教育現場の職場風土のみならず、硬直化し、公平性を欠く神戸市教育委員会独特の人事制度「神戸方式」(校長間協議人事方式)が一因としてあることが注目されました。

自由民主党神戸市会議員団は、「神戸方式」の廃止を求めると同時に、全容解明、厳正な処分、子供たちの心のケア等に関する緊急要請を実施。公正な人事、教員の採用のあり方、学校内における労働環境などの改善を求めました。

その結果、半世紀ぶりに「神戸方式」が廃止され、教員研修制度の再構築、学校の職場風土や職場環境の改善が着手されました。

実績4 外郭団体の 不祥事撤廃!



ポータライナーなどを運行する「神戸新交通」で、労組幹部が職員の定数削減や賃金カットを承認する見返りに、違法なヤミ手当を超過勤務手当等の名目で受け取っていたことが、自由民主党神戸市会議員団の追及で判明しました。

また、20年間も同一人物が労働組合の委員長を務めていたこと、事実上多数人の労組幹部の不当な影響下に会社が置かれていたことが判明し、市の外郭団体全体に共通する「ガバナンス(統治)崩壊」が浮き彫りに。

自由民主党神戸市会議員団から市に対し、全外郭団体の抜本的なガバナンス改善と不適切事案の一斉点検を求めた結果、外郭団体の構造的欠陥の改善、市政全般にわたる事業の適正化につながりました。

※実績のごく一部を掲載しています。



自由民主党神戸市会議員団

Liberal Democratic Party of KOBE

TEL.078-322-5846

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
HPアドレス <http://www.jimin-kobe.com/>



市民と共に 本気の改革!前進!!

具体的な
実績を残してきた
自民党!

※実績のごく一部を掲載しています。

実績5 北神急行線のアクセス

自由民主党神戸市議員団の粘り強い要望の結果、新神戸駅から谷上駅(7.5km)を結ぶ北神急行線を、令和2年6月1日より市営地下鉄北神線として運行を開始いたしました。



大幅な運賃低減によって交通利便性を高め、北神・北摂地域のさらなる魅力向上を図ることで、人口減少の歯止めと持続可能な鉄道ネットワークの構築をめざします。

今後、北神急行線を持続可能な形で維持し、北神地区の交通結節点としての役割が期待される谷上駅へのアクセス向上などの課題について、責任をもって取り組んで参ります。

実績7 ファッション文化振興条例の制定!

自由民主党神戸市議員団が座長・事務局長を務める検討会を経て、「神戸らしいファッション文化を振興する条例」が策定されました。



条例制定記念展「神戸・まちのファッションの現在形」

神戸は1973年、全国に先駆けて「ファッション都市宣言」を発表するなど、ファッション都市としての歴史があります。

「市、事業者及び市民が共に、神戸らしいファッションを振興することにより、これを次世代に引き継いでいくこと」を条例の理念とし、神戸の歴史や自然を生かし、地域に根差した地場産業、アパレル、シューズ、真珠をはじめスポーツ、洋菓子、清酒などファッション性豊かな生活文化産業全般の振興を目指します。

実績6 コロナ最前線支援へ 善意を橋渡し!

新型コロナウイルス感染症対策の前線でご尽力いただいている医療・介護関係者等の皆様を全力で応援したい。そんな思いを実現すべく、自由民主党神戸市議員団は、各種団体・企業・個人の皆様に支援物資の寄附を募り、コロナ対策の最前線で不足している物資を現場にお届けし、多くの皆様の善意をかたちにすることができました。



支援品は市内各医療機関、公共機関、老人福祉施設、保育施設、児童養護施設等に届けられました。

支援品目録(一例)	
支援金 5,030万4,500円	消毒液 1,920ℓ エアロゾロボックス100個
マスク 93.5万枚 防護服 4,500枚	軽症者用搬送車 5台
手袋 15,000双 ゴーグル 500個	ビッグマックセットクーポン 2万枚
フェイスシールド 2,360個	冷凍食品、缶詰 2トン 神戸産いちご100キロ
クリアパーティション 150枚	携帯ストラップ 1,100個 など

実績8 抜本的な都市計画手法の見直し!

「規制からにぎわいづくり」へ。まちの活性化を促進する都市計画手法の歴史的な大転換を、自由民主党神戸市議員団は訴え続けてきました。



まちのにぎわいを活性化するためには、魅力や利便性、活力の向上のため、インセンティブが生じる効果的な規制緩和が必要です。具体的には用途地域の制限緩和、事業性を向上させる建て替え等を促進する容積率の緩和など、これまでの規制中心の手法からの脱却が、自由民主党神戸市議員団の要望を受けて、実現します。

引き続き、まちの活性化につながる効果的なハード施策、ソフト施策を組み合わせ都市計画行政が展開されるよう、全力で推進して参ります。

市政へのご意見・ご相談は以下の各区所属議員にお問い合わせ下さい。



所属議員一覧

東灘区
市会議長
安井 俊彦
tel.078-842-3020
fax.078-841-3090
yasui@yasui.net

東灘区
うへはたのりひろ
tel.050-3573-1204
fax.078-330-0239
uehata.kobe@gmail.com

東灘区
大野 陽平
tel.078-851-6996
fax.078-854-2300
yoheiohno11@gmail.com

灘区
吉田 健吾
tel.078-861-5566
fax.078-861-3456
gogo@yoshidakengo.jp

中央区
幹事長
かわなみ 河南 ただかず
tel.078-806-8633
fax.078-806-8653
contact@55kawanami.com

中央区
副幹事長
おかむら 正之
tel/fax.
078-585-7101
info@okamura-masayuki.jp

中央区
幹事・広報
坊 やすなが
tel.078-983-1711
fax.078-983-1719
yasunaga.bo@gmail.com

中央区
政調会長
五島 だいすけ
tel.078-322-5846
fax.078-322-5548
mail@goto-daisuke.net

中央区
副政調会長
植中 雅子
tel.078-583-8060
fax.078-583-4696
uenakamasako8060@blue.ocn.ne.jp

兵庫区
守屋 隆司
tel.078-512-5722
fax.078-512-5723
moriya@jimin-kobe.com

兵庫区
平野 達司
tel.078-531-8780
fax.078-531-5301
th.tatsuji.hirano@gmail.com

長田区
幹事・会計
平井 真千子
tel/fax.
078-643-0647
machiko.h@earth.ocn.ne.jp

須磨区
団長
安達 和彦
tel.078-735-3322
fax.078-735-1268
adachi@jimin-kobe.com

須磨区
むらの 誠一
tel.078-739-8889
fax.078-739-8887
mail@murano.gr.jp

垂水区
副幹事長
しらくに 高太郎
tel.078-704-6060
fax.078-709-5252
info@shirakuni.net

垂水区
副政調会長
岡田 ゆうじ
tel.090-9259-1555
fax.078-330-2335
mail@okadayuji.net

西区
市会副議長
坊池 正
tel.078-965-0400
bouike@nifty.com

西区
山口 由美
tel/fax.
078-777-6933
yamaguchi@yumiguma.com

西区
山下 てんせい
tel.080-5341-3710
fax.078-961-3849
(URL) https://yamashita-tensei.com

おかむら正之

I LOVE KOBE WE LOVE KOBE BE KOBE

新 型 コ ロ ナ

厳しい寒さとともに、感染者数が増加しています
感染拡大防止へご協力を!

ごあいさつ こんにちは、神戸市会議員のおかむら正之です。
厳しい寒さが続く中、皆様いかがお過ごしでしょうか? 年が明けても
新型コロナは収束の見通しが立たず、お茶の間の話題の中心です。
コロナが5類になりましても、ワクチン無料接種の継続を国や市に
要望するなど、引き続き皆様の声を市政に届けてまいります。

神戸市内新型コロナ感染症情報

新規感染者数 **3,036人**
2023年1月8日現在
前週同曜日比+2,065

確保病床 69% 重症者用 40%
使用率 使用率

オミクロン対応 31.4% 高齢者
ワクチン接種率 53.2%

新型コロナで お困りの方へ 神戸市の支援について

個人の方への支援

生活資金の支援

- ▶ 神戸市暮らし支援臨時特別給付金
- ▶ 低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金
- ▶ 神戸市暮らし支援臨時特別給付金
- ▶ 国民健康保険加入者への傷病手当金
- ▶ 後期高齢者医療制度の被保険者への傷病手当金
- ▶ 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金

支払いなどの猶予制度

- ▶ 市税の納税の猶予
- ▶ 国民健康保険料の減免・猶予
- ▶ 国民年金保険料の免除・納付猶予
- ▶ 上下水道料金の支払い猶予
- ▶ 後期高齢者医療保険料・介護保険料の減免、徴収猶予

雇用対策、就労支援

- ▶ ひとり親家庭のための就業相談



住まい

- ▶ 住まいにお困りの方への市営住宅の提供
- ▶ 収入が減少した市営住宅入居者の方への家賃減免
- ▶ 住居確保給付金の支給



市内事業者の方への支援

補助金・助成金自動診断システム

国や自治体の様々な公的支援
制度の中から、自社にあった制
度を診断・選定できます。相談
(無料)や、申請のサポート(有
料)も実施しています。

※相談・申請サポートは、株式会社ライトアップが担当します。



ひょうご・神戸経営相談センター

- ▶ 兵庫県よろず支援拠点 078-977-9085
- ▶ 神戸商工会議所中央支部 078-367-3838



資金繰り・補助金・税制支援

- ▶ 新型コロナウイルス感染症対策融資制度 (兵庫県)
- ▶ 中小企業向け融資制度及び市長認定
- ▶ 経営改善計画策定促進補助金
- ▶ 新型コロナウイルス感染症に関する税制支援

神戸市以外(県や国など)の支援情報

支援情報ナビ

(内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室)

※兵庫県と国が実施している支援策をまとめて確認できます。





感染を心配されている方
感染症に対する相談のある方

新型コロナウイルス専用健康相談窓口

▶24時間受付、多言語対応可

☎ **078-322-6250**

重症化リスクの高い方の
療養に関する相談対応

中央区保健センター

▶休日・夜間（17時30分～8時45分）は留守番電話のあとに電話番号の案内があります

☎ **078-335-7511**

抗原検査キットにの申込み
に関する問い合わせ

オンライン確認センター

▶受付時間：9時30分～17時 電話による検査キットの申し込みは受け付けておりません。

☎ **078-322-2117**

治療・療養終了後も続く症状
についての相談対応

新型コロナウイルス後遺症の相談窓口

▶受付時間：10時～17時、土曜・祝日・年末年始を除く

☎ **078-322-6037**

健康に不安を感じている
高齢者の相談対応

シニア健康相談ダイヤル

▶受付時間：平日10時～15時（土日祝、年末年始を除く）

☎ **078-322-5999**

ワクチン接種に関するごども
本人や保護者からの相談対応

こども向け専用相談窓口

▶受付時間：9時～17時（土日祝含む毎日）

☎ **078-277-3324**

新型コロナ感染拡大で
不安を感じている方の相談

精神保健福祉センター

▶受付時間：平日8時45分～17時15分（12時～13時除く）

☎ **078-371-1900**

新型コロナ自宅療養者の方

陽性者登録フォーム等にご入力ください →



無症状・低リスクの方の療養や体調悪化時の相談
自宅療養フォローアップセンター

▶24時間対応 ☎ **078-322-5565**

食糧支援、療養期間等は8時45分～21時



新型コロナ療養者フォローアップガイド →

オミクロン株対応 新型コロナワクチン



大規模接種会場 ●ハーバーランドセンタービル

集団接種会場 ●センタープラザ9階 ●市役所1号館24階

神戸市新型コロナワクチン接種コールセンター

▶受付時間：平日8時30分～20時00分

土日祝・年末年始8時30分～17時30分

☎ **078-277-3320**

集団接種会場の予約方法の案内など。予約時は接種券をご用意ください。

職場におけるコロナ感染症対策のお知らせ



～各職場でぜひ取り組んでいただきたいポイント～

●テレワーク、時差出勤の推進



●気兼ねなく休めるルール、 雰囲気づくり



●密にならない工夫



●“場の切り替わり”での 対策・呼びかけ



●基本的な感染防止対策



※業種別ガイドラインが定められている場合は、そちらもチェックしてください。ガイドラインはこちら →

内閣官房 ガイドライン



発行：自由民主党神戸市議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号

TEL.078-322-5846

神戸市政報告

灘区版

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

編集・発行:
自由民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846
<http://www.jimin-kobe.com>

自由民主党神戸市議員団
神戸市議員

灘区

吉田健吾

よし だ けん ご



決算特別委員会で質問する
神戸市議員 吉田健吾

【特集】令和3年度決算特別委員会で「福祉局」「危機管理室」「消防局」に対し、局別審査を行いました。議事録(抜粋)を掲載いたしましたので、ぜひ、ご一読ください。

市政
報告

吉田健吾の議会での質問が、 様々な政策の実現につながり始めています。

市立学校における 「学年(チーム)担任制」 モデル実施へ



令和5年4月より「学年(チーム)担任制」を、市立小学校2校・中学校2校に導入します。政令市においては、一部の都市で学校が独自に取り組んでいる例がありますが、教育委員会が主導的に方針を示し取り組むこととなったのは、神戸市が初となります。

目的 教職員が多面的な視点で児童生徒と関わり、児童生徒の変化に気づく機会を増やす。

例)2学級に3人の教員が週ごとに入れ替わりながら学級業務を行う

チーム担任制については令和3年9月議会の質疑で提案しました。

2030年をメドに 神戸空港に 国際定期便が就航へ!!



神戸空港国際化は3空港(関空/伊丹/神戸)懇談会の中の神戸空港の在り方で、2025年に国内線の発着枠拡大と国際チャーター便就航、2030年の国際定期便就航の道筋が示されました。

その後、震災後に神戸空港を建設するときには「市税を投入しない」決議をしていましたが、切り替えて「あらゆる財源を活用」とする決議をしました。

さらに現在は、サブターミナル整備基本計画の意見募集がされています。



神戸空港サブターミナル整備基本計画(案)についての意見募集



令和3年度決算特別委員会 局別審査

議事録抜粋

福祉局・危機管理室・消防局に対し局別審査を行いました。



福祉局

2022年9月29日

児童発達支援センターについて

■質問:吉田健吾/児童発達支援センターについて、4つの役割機能を担うこととする児童福祉法が改正され、令和6年4月施行されます。児童発達支援センターの強化が必要と考えます。現状をお伺いします。

- ①幅広い高度な専門性に基づく発達支援、家族支援機能。
- ②地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能。
- ③地域のインクルージョン推進の中核としての機能。
- ④地域の障害児の発達支援の入り口としての相談機能。

■答弁:森下福祉局長/本年度は民間の各事業者に対し、現状の取組内容に関するヒアリングと意見交換を行っています。その中で、児童発達支援センターの役割や機能が一般に周知されていないと御指摘いただいています。一般の児童発達支援事業所を含めて地域の事業所等に助言、指導していかねばならない。

■質問:吉田健吾/私立のセンターには、求められる役割や機能に対して、人材確保や育成面で課題がある。また、厳しい報酬体系になっている。予算措置をして、人材を確保しやすくし、高度な人材を育てるような環境をつくっていく。実効的な支援が必要だ。

■答弁:若杉福祉局副局長/地域支援等の取組については、現時点で加算がない。令和6年の法改正に向け、地域における中核的な支援機関としての役割・機能の波及が促される報酬体系になるよう検討されています。市として支援策を検討したい。

障害者就労について

■質問:吉田健吾/市内には障害者雇用の義務のある事業者は1,325あり、法定雇用率を達成していない事業者は半分以上と聞いています。事業者それぞれの状況を分析して、ターゲットごとに効果的なアプローチが必要と考えます。ご見解をお伺いします。

■答弁:若杉福祉局副局長/障害者雇用への関心に結びつけるため、オンラインセミナーを7月から開始しています。関心が高い企業の方に対し、業種別の企業見学会や意見交換会、1日職場体験も予定しています。採用前実習や面接への同行、採用後の職場定着支援を行っています。また、動画の活用も必要と考えています。

■質問:吉田健吾/約1,300社の対象企業に対してしごと開拓員が全市に4名で、はたして目指すべき社会の実現に近づくことができるか。マンパワーを増やす必要があるのではないかと。

■答弁:若杉福祉局副局長/いろいろな新しい形での取組を始めていこうとしているところなので、まずそこで必要となっている支援を把握した上で、今後の体制について検討したい。

ウラ面に続きます▶▶▶

この冬は新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行の可能性がります。

神戸市 新型コロナウイルス専用健康相談窓口 078-322-6250 (24時間受付 多言語対応)

●新型コロナウイルスの感染を心配されている方 ● 予防・感染症に対する相談のある方 ● 感染者と接触があった方

▶▶オモテ面からの続きです

神戸市の障害者雇用について

■質問: 吉田健吾/神戸市職員採用で、障害者法定雇用の現状はどうなっているのか。仮に達成できていないのであれば、企業に対して説得力がない形になってしまう。御見解をお伺いします。

■答弁: 若杉福祉局副局長/今年6月1日現在で2.34%。地方公共団体の法定雇用率2.6%を満たしていない状況です。雇用した職員の方が安心して業務に従事できる仕組みづくりを進め、障害者雇用の拡充を進めていきます。

超短時間雇用について

■質問: 吉田健吾/障害者の超短時間雇用については、垂水区の商店街をモデル地区として研究を進めており、次のステップとして、他の地域や事業者にも展開していく発展期に入らなければならない。実証事業の成果と今後の展開についてお伺いします。

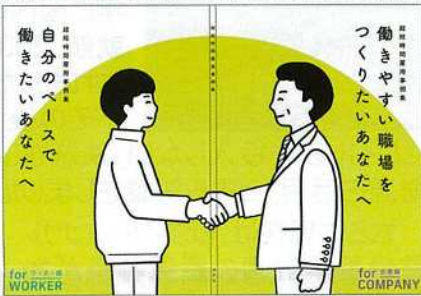
■答弁: 若杉福祉局副局長/令和3年度までに就職された方延べ人数90人、雇用企業が55社です。この垂水プロジェクトを通じ、一定のスキームが整備されてきました。超短時間雇用の取組みを他の地域や、アプローチについて検討していきたい。

目指すべき社会とそのグランドデザイン

■質問: 吉田健吾/福祉局として、目指すべき社会がどのようなものなのか、そのグランドデザインを市当局として示す必要があると思います。御見解をお伺いします。

■答弁: 森下福祉局長/一般就労、福祉就労を含め、個々の特性、状況に応じて、本人とその企業がベストな状態で働き続けられることが大切だと思います。

この本、作りが秀逸だと思っ
てまして、実は両方表紙なんです。こ
ちらは、障害者の方
から、自分のペースで働
きたいあなた、そして
こちら企業のほうから
働きやすい職場をつ
くりたいあなたというこ
とで、我々が目指す世界とい
うことになっています。



■要望: 吉田健吾/労働力としてもしっかり活躍してもらいたい位置づけだと私は思います。そうすることで、市民全体の所得も上がり、社会保障費の抑制にもつながる。それが、これから目指すべき社会と考えます。障害があっても、生きづらいと思っている方も、豊かで幸せな気持ちで暮らせる神戸になるようお願いいたします。



危機管理局・消防局

2022年10月3日

灘消防署の建て替えについて

■要望: 吉田健吾/すばらしい消防署に建て替えていただくことはもちろんのこと、地域や区民にとって有効な施設に再整備をしていただきたい。灘区にファイア・アドベンチャーという事業があった。見学受け入れ施設ができることも併せて要望します。

防犯カメラについて

■質問: 吉田健吾/地域団体が設置する防犯カメラへの補助事業を平成24年度から実施し、令和3年度末時点で市内に約2,900台設置されている。この地域カメラは設置については補助金で賄えるが、電気代等のランニングコストは、地域団体が負担している。地域の防犯に役立っているのか、地域がお金を出してそのかいがあるのかお尋ねしたい。

■答弁: 筒井危機管理監/昨年度、抽出調査したアンケートで、防犯カメラの設置効果として、9割以上の団体が役立っていると回答いただいた。地域の治安がよくなったと感じるとの回答も6割を超えている。また、県警からは、強制わいせつなどの重要事件やその他身近な犯罪の検挙はもとより、人の命に関わる様々な事案の早期解決に効果があると聞いており、地域の防犯活動を補完するものとして役だっていると認識している。

■質問: 吉田健吾/地域カメラがある一方で、子供や女性に対する犯罪防止を主たる目的として、令和2~3年の2か年で2,003台の直営カメラを小学校区の通学路や利用客の多い主要駅の周辺に設置してきている。直営カメラと地域カメラについてはどのようにすみ分けているのか。

■答弁: 筒井危機管理監/地域カメラは、地域の内側にある狭路や公園等としているものが多い。市の直営カメラは、小学校や主要駅の半径500メートル圏内といった一定の設置基準を設け、子供や女性に対する犯罪の予防・解決という明確な目的の下、地域団体が余り設置しない幹線道路や公園等、いわゆる地域カメラの外側をカバーしている。こうしたすみ分けにより、相互に補完し合って、安全・安心なまちづくりを進めていく。

■質問: 吉田健吾/公園管理会が建設局からもらえる緑化ボランティア助成制度の中に、あえて『防犯カメラの電気代は公園管理会の費用からは出せません』となっています。危機管理室として全体の防犯のためになるという観点から、建設局にも働きかけ、柔軟な対応ができないか。ご見解をお伺いします。

■答弁: 筒井危機管理監/公園の防犯カメラ設置については、不法投棄等の防止につながり、公園の魅力アップにも寄与している。建設局とよく協議したい。

避難所について

■質問: 吉田健吾/危機管理室では、避難所開設運営マニュアルのひな型を作成し、それをベースに地域ごとの実情に合わせてつくってもらえるように取り組んでおられますが、実際に作成した地域団体が余りないと聞いています。地域住民が誰でも対応できるように、教員や職員が到着するまでの間の初動マニュアルを作成してはどうか。

■答弁: 福井危機管理室長/地域における避難所開設運営マニュアルの策定は、指定避難所323施設のうち19施設にとどまっています。大規模災害発生時、特に初動時には地域住民の協力は不可欠です。避難所の開設手順であるとか、最低限のルール周知など、地域住民がスムーズに初動対応を行えるよう、検討していきたい。

災害について

■質問: 吉田健吾/警察、海上保安庁、自衛隊などと連携して活動することが必要な場合、お互いの組織のことをより理解していなければ災害現場でスムーズに活動することが難しいのではないかと。普段からどのような形で連携を図っているのかお伺いします。

■答弁: 濱田消防局警防部長/他の防災関係機関との連携につきましては、阪神・淡路大震災を経験していますので、重要と捉えてこれまで取組を進めています。警察、自衛隊、防災関係機関と連携を強化し災害対応力の向上に努めたい。

消防団スマート情報システムと新機材

■質問: 吉田健吾/消防団の方々からリアルタイムで画像などを送っていただいている情報収集をするというシステムですが、導入から3年経過しましたので、実績を教えてください。また、近年いろんな技術が発達してドローンのような新しい機材の導入もされていると聞いています。新機材や、その奏功事例、今後また新たに導入を検討しているものがあればご紹介いただきたい。

■答弁: 鍵本消防局長/無料通信アプリLINEを使い、人工知能を介すことによって、地域の情報をスマホから送っていただくと、それがGIS上の地図に展開するというものです。台風14号の際、パトロール中の消防団から送ってこられた写真が通報につながったという事例もあります。ドローンをはじめ新しい取組を全国11になることを目指しています。



神戸市会本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継を行っています。ぜひご覧ください。

神戸市会

検索



自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員 灘区

よし だ けん ぞ

ごとう
五島

だいすけ通信

2023年
新年号

http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net

ごあいさつ



新たな年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。この冬の寒さは例年以上とお聞きします、皆様ご自愛くださいませ。さて、今年度私は自由民主党神戸市議員団の政調会長を務めております。政調会長は最も重要な政策の立案や委員会や本会議における会派内外の政策調整などを行います。最大会派の政調会長として権限も大きいながら責任重大です。我々の任期4年間の最終年にあたるこの年ですから、市政に対して市民の皆さんが思っておられる「変わって欲しい事、守って欲しい事」について真摯に取り組み、少しでも多くのご要望をかなえるために取り組んでおります。

本市政報告では、子どもたちにとって重要な教育環境や部活動、運動の場づくりについて、また、政調会長として取りまとめた米年度予算に向けた市長要望について、また、我々の大事な足である道路について報告させていただきます、是非とも最後までお読みください！

こどもたちの黙食、イベント自粛について

(10月5日決算特別委員会 教育委員会審査において)

大人たちは居酒屋で飲み会を開き、マスクを取り、酒を飲んで大声で語り合っているのに、子どもたちは学校で黙食をさせられている。コロナも弱毒化し、子どもの重症化率も低いという事が統計上分かっている。給食を食育だというのであれば、黙って食べるより、友達と「おいしいね」と会話をしながらの給食の方が発育にもいい。賛否はあるだろうがそろそろ黙食をやめようという話をしてもいい時期にきているので、黙食をやめる検討をするべきだ。

大人は会話OK、子供の給食は黙食というのはダブルスタンダードです！子どもにも会話を、普通の給食を食べさせてあげたいという事で要望しました。更に特別委員会の会派意見として「黙食を早期にとりやめる事で、子どもの健全な育成を取り戻すこと」という要望を行いました。

この結果、11月25日にまず中学生と高校生の黙食が取りやめとなり、「大声での会話は控える」というルールに変更されました。さらに小学生にも会話を取り戻すよう市長および教育委員会に引き続き申し入れを継続してまいりました。

その結果、3学期から、小学校・特別支援学校・幼稚園など全ての学校園において「会話を控える」という黙食をとりやめ、「大声での会話は控える」というルールに変更されました。本通知はすぐ〜等でも発信されております。



また、あわせて学級閉鎖の基準についても3学期よりインフルエンザ並みのルールへと変更されます。



大人は居酒屋で騒ぎ、子どもは黙食させたまま!?
これはダブルスタンダード!

他にも、

- 遠足に行く場合にマスクをつけさせ会話を一切させない事も異常である。マスクをさせているのだから通常の会話はさせてあげたい。
- 子どもたちのイベントや、街のイベントが自粛される事で、子どもたちの経験という成長が阻害されている。様々なイベントの開催基準を緩和すること。
- 学級閉鎖の基準や、教員の濃厚接触などによる出務停止基準の緩和すること。

などを要望しております。

黙食のとりやめ等により不安を感じる方もおられるため、もちろん賛否はあると思いますが、**合理的な考え方に基づき日常を取り戻す事が必要と考えておりますので、あえて白黒をつけた要望活動**をさせて頂いております。市民の皆さんのご理解とご支援をお願い申し上げます。

黙食・学級閉鎖(従来)

※小学校 特別支援学校 幼稚園

会話を控える
机を向かい合わせにしない



3学期からの取り扱い



大声での会話を控える
机を向かい合わせにしない

1名の感染者+α
複数感染したかも? という可能性の
時点ですぐ学級閉鎖にしてしまう

※全校園



インフルエンザ同様

新型コロナまたはインフルと診断された者が1名以上
おり、これを原因とする欠席率が高い(15~20%目安)
ときだけ学級閉鎖とする

●学校開放の拡大について 学校施設を市民にもっと開放せよ!

神戸市が未来に向けて発展していくためには、子育て世帯に選ばれる街として都市間競争に勝つ必要があります。そのために特に重要な要素が、教育やスポーツに力を入れているかどうかです。

過去数年にわたり、体育館やグラウンドなどの活動の場所が足りないという事を野球・サッカー・バスケットボール・剣道や柔道など武道関係者その他から要望を頂いてきました。豊山町の豊山グラウンドや、旧鈴蘭台西高等学校跡の通称鈴蘭グラウンドの整備に尽力するとともに、体育館の新設を要望してきましたが、体育館については建築費がかかるため簡単な新設ではありませんでした。そこで、令和2年の決算特別委員会の質疑において以下のように質問をしました。

五島 学校施設開放については多くの団体が使いやすい状況とは言えない。全国的に人口が増えるにつれ一人当たりの体育施設面積は減少する傾向にあるが、神戸市も同様であり体力調査の結果も良くない状況だ。体育館の新設が出来ないのであれば、学校施設の市民に対するもっとオープンな活用が出来るようにするべきではないか?



教育委員会事務局 我々もそうのように思っている。教育財産であるため学校教育に支障のない限りにおいて出来るだけ学校開放の枠を広げるため対応して参りたい。

五島 公園のボール遊びに関するルールも最近厳しく、子どもが安心して遊べる場所と言えればやはり学校ではないか? 昔は校庭で自由に遊べたのに今はそうではない。教育財産云々というのがハードルであるならば、いっそのこと市長部局に移管して(教育財産という定めを外して)教育部門の責任も外してしまえば楽になるのではないか?

教育委員会事務局 具体的に大胆な提案を頂いた。教育財産を外してしまう事に対しては課題もある。施設の有効利用という観点については管理方法について現行の方法以外に何が出来るか、他都市事例などを研究す

るとともに市長部局とも連携し前向きに研究していきたい。

この質疑の結果として、その後

●小学校の学校開放について、開放日を週2回という制限があったところを、制限なしへ

●中学校についても、スマートロックというシステムを用いてこれまで実施されていなかった中学校体育館の開放が開始

という成果が得られました!

時期	北区で夜間開放している(予定の)中学校	北区以外
令和4年11月から	有馬中学校、有野北中学校、星和台中学校、山田中学校	21校
令和5年1月から	有野中学校、北神戸中学校	6校追加

基本的に開放時間は、年末年始や学校が使用する日を除く18時30分～20時30分の間となります。今後も全市で50校程度に増加させる予定です。

中学校体育館(夜間)開放について

※ご利用希望のスポーツ団体の方は右のQRコード(教育委員会HP)からWebサイトをご覧ください



開放の報告に喜んでくださる、バスケットボールチーム ホープスの皆さん

チームの皆さんが練習する場所を増やすというお約束を果たし、ご報告させて頂きました。ホープスの皆さん以外にも、スポーツに取り組む皆さんに大変好評をいただいております。



市長要望

今年も、来年度予算(令和5年度予算)に対する要望を、元市長に対して提出しました。政調会長として議員団メンバーがお話された市民の皆さんの願いを詰めこんだ34ページの要望書を編纂したものです。その中身を抜粋してご紹介いたします。

●市および関連団体が行う民間に対する発注すべてにおいて、市内事業者が受注しやすくするために、内部規定の更なる見直し、分割発注等の工夫を進めること。

●市の直営事業の都市間連携やインフラの相互利用など、周辺他都市との広域行政の連携により、事業予算の削減および税収の増加を図ること。例えば、水道事業やごみ行政、消防システムの都市間連携などについて検討を進めること。

●現在中学生まで拡大している医療費補助(医療機関利用月2回まで400円の自己負担)について、高校生まで対象を拡げること。その際、自



己負担額を全体的に500円まで増額することも予算措置上検討すること。

●空き家特措法に基づいた現在の取り組みでは対応しきれないもの(例えば空き家であっても危険性が低い、においや景観に問題があったり、草木が繁茂している空き家でない住戸や空き地)に対応できるよう、特措法の解釈を拡大する事や、別途条例を制定するなどにより、健全な住環境の維持を可能とすること。



●福祉医療職人材の確保のために待遇改善をすること。

●市営住宅のみならず、URの老朽化した住宅団地の再整備により新たな街の魅力創造につながる都市政策を行い、移住施策の強化につなげること。

●経済安全保障を考慮した積極的な企業誘致を国と一体となって行うこと。



●環境に配慮した都市づくり、循環型事業促進および未来の環境産業のスタートアップ強化をすること。

●将来の空
び離着陸



確保する
事業利用



●大倉山の
地に大規
模の建設
を整備する

(ここにこ

●部活動の地域移行は子供たち、指導者、保護者の三方よしにすべし

「部活動の地域移行」という言葉を最近よく聞かれると思います。文部科学省・スポーツ庁が取り組み、令和5年度～7年度の3年間で休日の部活動地域移行集中期間とされています。しかし、だれがどのように担当するのか? 場所は? 費用や予算はどうなるの? 等という項目については具体的な案が聞こえてきません。

とはいえ、神戸市としても指示を待つのみでは不安が募るばかり。近年の少子化で、部活動の種目が減り、子どもたちが体験出来るスポーツは減ってしまっていますが、子どもたちは好きな文化スポーツに打ち込みたいと思っているし、我々保護者は少しでも多くの体験を子どもたちにさせてあげたいと思っています。また、この地域移行には教員の多忙化対策という要素もあるのですが、部活動の指導をしたという教員もいれば、そうでない教員もいます。

また、文化スポーツは地域づくりとしても重要な要素であり、地域の魅力づくりに直結する要素です。そういう視点で下記のような質疑を行いました。

五島 地域移行の取組は、これまで長年続いていた学校部活動からの大きな転換になる。意欲のある教員の活動の場というのは、これは絶対に確保しておかなければならない。地域移行に当たっては教員の皆さんの希望や意見をまず聞かなくてはならない。

まず教員の皆さんにアンケートや意識調査で、「もし移行されたらあなたは日曜日、土曜日、取り組みたいですか、取り組みたくないですか、種目は何ですか、文化部であればどのクラブですか」というようなことを聞いてあげることが必要じゃないかと思うんです。その姿勢が教育委員会事務局の皆さんが示すことで、教員の皆さんも「ああ、俺たちのことを考えてくれている」となる。この調査をまずすべきだと思いますがどうですか?

教育委員会事務局担当部長 議論を進めるに当たりましては、教員の意向を丁寧に聞き取ることが必要ですので、アンケートを実施したいと考えています。

五島 よろしく頼みます。また、教員の兼業兼職の運用も今後立ち上げる検討会でしっかり考えて頂くようお願いします。

スポーツ・文化・教育が優れたまちは、今後のネット社会の中で現実リアルの世界で何をするかというのが非常に大事になってくる中、地域の人口

減少の最も大事な要素になるのではないかなというふうに考えております。また、スポーツクラブが地域移行した後も、必ずしも中学生のためだけに存在しなくてもよいのではないかなというふうに考えております。

例えば小学生もスポーツクラブに馴染んでいただろうし、大人も一緒にやっていたらいいだろうし、その中で指導者を見つけていたっていいだろうしというところで、いろんなことを考えていって

られると思うんですね。

そこで、クラブの場所をじゃあどこに求めるかというところ、施設があるのはやっぱり学校、運動場、体育館、音楽室じゃないかなというふうに思っていますので、そういう場の提供をする事がまちづくりとなるのですが、どう思われますか?

長田教育長 委員が御指摘の、これはまちづくりそのものだと思います。受け皿と言っておりますけれども、そういうスポーツ団体、これを理想から言いますと地域でそういう団体をつくっていただいて、その中にしかるべき指導者が入っていただいて、大人から子供までそこで地域活動、スポーツ活動、芸術文化活動を楽しみたい、こういうのが理想の姿ではないかというふうに思っています。

これは、スポーツ、文化ということを超えて、やはり健康という問題とも直結する問題ではないかというふうに思っていますので、そういう意味で非常に大きな視点で、市長部局とも連携しながら今回の地域移行の取組を進めていく必要があるというふうに考えております。

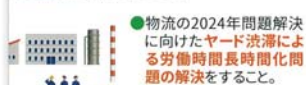
五島 皆さんは、教育をしっかり受けさせることが本来の役割ですが、これからはまちづくりに対しても、全力で協力させていただきたいと思います。子供の目標と保護者の目標と、それから教職員の目標と、このいろんな視点で物事を考えていって、神戸の文化とスポーツがこれからも活性化するように全力で取り組んでいただきたいと思います。

子どもたち、教員、地域がどのようにしたいのか? を聞き、考え、これをまちづくりの要素としても認識し、検討していく必要があります。

指導者が楽しくなければ子どもたちも楽しくなりません。まずは、教員のアンケートを行います。生徒や保護者の意識調査も必要になると思います。予算についても国からどれくらい出てくるのか? 地元でどれほど用意できるのか? 神戸ならではの企業に協力を求めても良いと思います。皆で知恵を絞って子供たちの環境づくりに取り組んで参ります。



飛ぶ車社会実装に向けた、市内実証実験および場等拠点の整備を行うこと。



●物流の2024年問題解決に向けた「ヤード渋滞による労働時間長時間化問題の解決」をすること。

●神戸港の集荷創貨推進のためにも、不足している物流用地を内陸部にを計画的に進めること。



神戸文化ホールの跡地な体育館や武道館と、室内競技の聖地をこと。

紹介したものは200項目を超える予算要望の一部です)

※現在の中学校における運動部・文化部の部員数はこのようになっています。色んな活動に属して子供たちは頑張っています。チーム結成のために必要人数が多いサッカーや野球は部活動自体が無い学校もあり部員数は以前より少なくなる傾向にあるようです。希望のクラブが無い場合は、民間のクラブに所属する必要があり、家計負担にもなり得るので、地域移行によってこのあたりの問題も解決できればと考えます。

部員数ランキング 令和4年8月時点			
運動部	部員数		合計
	男	女	
1 ソフトテニス	2,013	2,410	4,423
2 バスケットボール	2,097	1,349	3,446
3 卓球	1,721	1,222	2,943
4 バレーボール	720	2,028	2,748
5 陸上	1,450	908	2,358
6 野球	1,904	35	1,939
7 サッカー	1,366	67	1,433
8 剣道	285	207	492
9 水泳	230	116	346
10 柔道	252	93	345
その他	316	521	837
合計	12,354	8,956	21,310

文化部			
部員数	部員数		合計
	男	女	
1 吹奏楽	709	2,809	3,518
2 美術	477	1,830	2,307
3 家庭・生活	55	572	627
4 放送	173	337	510
5 コンピュータ	336	147	483
6 理科・科学	359	115	474
7 情報技術	152	26	178
8 総合文化	19	107	126
9 合唱	2	122	124
10 技術・ものづくり	52	50	102
その他	144	263	407
合計	2,478	6,378	8,856

1 皆森交差点～谷上間の2車線化について

2016年の春に行われた予算特別委員会で、梅木谷交差点～皆森交差点までの渋滞が酷いことから、まずは皆森～北勝間の東向き斜線を2車線化すべしと要望し、予算を獲得させて頂きました。

その後、渋滞解消のためには、より長い区間を2車線化検討する事になり、皆森～谷上間を2車線化する事になりました。その後、北神急行の市営化もあり全工程である皆森～谷上を2つに分割し、まずは東側区間である芝床～谷上間の2車線化工事から着手されました。現状この区間は完成しているため、皆様にはすでに走行頂いているところです。

当然ですが、未だに梅木谷～皆森までの渋滞は緩和しておらず「あの話はまだなのか?」と聞かれる事が多いこの頃ですが、大変お待たせしました、**令和5年春頃から工事に着手、スムーズにいけば令和5年12月までに完成**する見通しが立ちました。

この工事、皆森交差点の東向きが左折専用ではなく直進も可となるため、大幅に梅木谷交差点方面からの渋滞が解消されることを目論んでおります。

道路の形が変わることで、ご迷惑をおかけしてしまう地元の皆様には、ご協力に心より感謝いたします。

北区の道路はこう変わる



2 青葉台口～日の峰5トンネル(国道428号線 箕谷北工区トンネル工事)について

この区間はいつも大雨が降ると通行止めになってしまい、また、道が細く大型車やバスが行き交う事が困難であるため改良の要望を長年させて頂いておりましたが、2017年の台風21号の際に青葉台口～大滝口間が長期の通行止めとなり、迂回などで大渋滞が発生、「もう、いい加減に根本解決をせよ!」と要望。

箕谷ランプ西側～日の峰5交差点の間に大規模トンネル工事をする事で、災害対応および通行円滑化を行う「国道428号線 箕谷北工区」工事予算48億円を獲得させて頂きました。設計を終え、**令和5年後半頃より西側に工事ヤードを建設**するところから着手し、同じく西側から東に向けてトンネルを掘る工事を行い、**令和7年度中に完工**を目指しています(進捗により工期が遅れる可能性あり)

あわせて、周辺道路の整備や、青葉台の皆様が箕谷ランプのバス停へ出る際の歩道が狭いことなども同時に解消するよう予算要望を行っております。



3 岡場大橋について

五社北交差点の改良工事は完了し、東西道路の右折レーン確保および矢印信号設置により渋滞がかなり軽減されており、交差点を利用される皆様から高く評価頂いております。

このたび、東岡場に物流団地を造成する大規模な工事が行われており、交通量の増加が予想されております。有野台から見た場合、西の神戸三田線に出ようとした場合に五社北交差点と対になるのが岡場交差点です。



物流団地の事業者さんとも折衝させて頂き、岡場交差点～交差点東のセブンイレブンのある交差点(有野台の北側)の区間の拡幅工事を事業者負担で行い、岡場大橋は神戸市が拡幅工事を行う事になりました。

道路自体の拡幅工事は現在進行中ですが、岡場大橋が拡幅されないと意味がありません。この度、ある程度の工事が決まりましたのでお知らせいたします。

総工費は6億円を予定、現在設計作業に着手した段階で、**工事着手は早くも令和5年の秋ごろになる予定です。工事期間としては令和8年度中に完成する予定**となっております。



岡場駅の駅前広場を再整備する案が出ておりましたが、図中の吉尾田尾寺線の歩行者専用道路化によって、文字通り自動車が通れなくなる事、バスの路線変更が必要なる事などから利便性が低下するおそれあり、見直しを要望しておりました。



鈴蘭台駅北地区、現状図中の「STEP1」工事進入路の整備が始まっており、進入路が出来次第、旧兵庫商業高校の解体が始まります。解体工事は令和5年春頃から開始され約1年の工事となる予定です。



神戸市会議員



岡田ゆうじ



自由民主党神戸市会議員団市政報告

2023. 1

No.44

コロナの克服

新年、明けましておめでとうございます。健やかに豊かな新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、はや3年になります。オミクロン株など変異株が感染の主体となるにつれ、感染者の数も爆発的に増え、昨今ではコロナ感染症の症状が治まった後の、「コロナ後遺症」に苦しむ患者の皆様への対処が求められるようになってきました。

後遺症問題で国は後手に回っており、「まずはかかりつけ医に相談し、必要に応じてコロナ感染症の専門病院に紹介を受けること」を基本方針としていますが、かかりつけ＝プライマリケアの現場では混乱も生じており、後遺症に悩む患者が十分な対処を受けられないケースも増えています。

私は議会で何度も繰り返し、東京都や広島県のような『「コロナ後遺症」連携病院』を設置し、後遺症に悩む市民が専門ダイヤルに直接相談したら、後遺症連携病院に紹介される制度を創設するよう申し入れてきました。

その結果 2023年1月当初予定で、神戸市にもコロナ後遺症連携病院が設置され、後遺症に特化した診療等が行われることになりました。

コロナの感染症のみならず、後遺症でも苦しんでおられる市民の方に少しでも寄り添い、一助となる施策が一刻も早く展開できるよう、今後も鋭意取り組んで参ります。

お困りのことなどございましたら、ご意見等をお寄せ下さい。



コロナ専門病棟を擁する中央市民病院

「『コロナ後遺症』連携病院」について

○分化員 (岡田ゆうじ) (コロナ) 後遺症の具体的な症状の高まりが出てくる中で、地域のかかりつけ医で対応できないケースが多い。

例えば広島県の場合、県のほうで指定した「後遺症連携病院」、要は後遺症を専門的に扱っているとライセンスされた専門病院に御相談ください、というスキームになっている。このように、個別のクリニックレベルでは対応できない後遺症問題を、知見を集めてコロナ後遺症連携病院に集約しているところが、32の都道府県・政令市・中核市においてある。この32の中に神戸市は入っておらないわけだが、検討を始めてほしい。

(2022年9月28日神戸市会決算特別委員会)

○委員 (岡田ゆうじ) コロナの後遺症の対策について、例えば広島県ではコロナ後遺症連携病院というものを指定しており、東京都でも「ここだったらコロナの後遺症の治療が受けられます」「ここに行ったら安心です」というのをリストアップして公開している。

神戸市も(コロナ後遺症専門ダイヤルの)窓口は設けていただいているが、やはり「もう自分はコロナ後遺症だ」という自覚がある患者については、コロナの後遺症の専門病院なり連携病院なりが対処していただきたい。

(2022年12月23日神戸市会外郭団体特別委員会)



岡田ゆうじ

○花田健康局長 先生から御案内あったように、今神戸市では令和3年の11月から後遺症の相談ダイヤルを設置し、そこに電話をかけてこられた後遺症の方に対して状況を看護師が聞き取って、実際にその症状に対応できる医療機関を御案内して対応していている。

来年のできるだけ早い時期にはご指摘の連携病院についても設置をさせていただいて、今以上に後遺症の方が安心して生活を送ることができるように努めていきたい。

(2022年12月23日神戸市会外郭団体特別委員会)



花田裕之
健康局長

実現 「コロナ後遺症連携病院」の設置



時期：2023年1月当初(予定)

内容：コロナ後遺症としての対処が必要と判断された患者により専門的な診療を提供する専門病院の設置

